

◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和2年度第4・四半期

(令和3年1～3月)

目 次



第4回 AI・業務自動化展
(令和2年10月28日～30日開催)

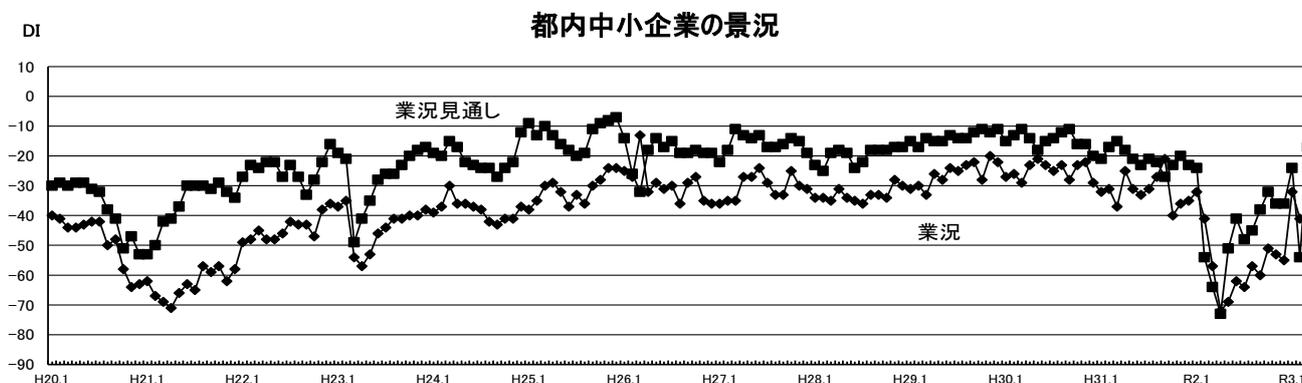
都内中小企業の景況（令和3年1～3月期）	1
品川区内中小企業の景況（令和3年1～3月期）	2
品川区の今期の特徴点	3
製造業	4
卸売業	9
小売業	13
サービス業	18
建設業	22
日銀短観	26
東京都と品川区の企業倒産動向	26
特別調査「令和3年度の経営見通し」	27
中小企業景況調査 比較表・転記表	31

品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和3年1～3月期）

業況：全体で大幅に改善、製造業、卸売業、小売業、サービス業も大幅に改善。
見通し：全業種で大きく改善の見通し。



業況DI（季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は▲44（前期は▲55）と、大幅に改善した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比27ポイント増の▲17と、極端に改善する見通し。

	前期 (R2.12)	今期 (R3.3)	増減	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲51	▲38	13	▲19
卸売業	▲56	▲46	10	▲9
小売業	▲66	▲59	7	▲30
サービス業	▲48	▲36	12	▲13
全体	▲55	▲44	11	▲17

令和3年3月の都内中小企業の業況DIは、前期から11ポイント増の▲44と、大幅に改善した。今後3ヶ月間の業況見通しDIでは、今期比27ポイント増の▲17と、極端に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況DIを業種別にみると、製造業（▲38）は13ポイント増、サービス業（▲36）は12ポイント増、卸売業（▲46）は10ポイント増、小売業（▲59）は7ポイント増と、いずれも大幅に改善した。

なお、仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、卸売業（8）は12ポイント増、製造業（13）は7ポイント増と上昇した一方で、小売業（▲9）は変動がなかった。

販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（▲14）は7ポイント増と大幅に上昇した。卸売業（2）は5ポイント増、サービス業（▲8）も5ポイント増、製造業（▲6）は4ポイント増と、いずれもやや上昇した。

今後3ヶ月間の業況見通しDIを業種別にみると、全業種で大きく改善すると見込まれている。卸売業（▲9）は37ポイント増、小売業（▲30）は29ポイント増、サービス業（▲13）は23ポイント増と極端に改善し、製造業（▲19）は19ポイント増と大幅に改善する見込みとなっている。

【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和3年1～3月期）

業況：全体の景況感は大幅に改善。製造業、サービス業、建設業、小売業で大幅に改善。
見通し：建設業、卸売業、小売業は大幅に改善、製造業で悪化の見込み。

品川区内中小企業の景況



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4月～6月期の業況DIは▲72となった。

今期（令和3年1～3月期）は、引き続き厳しい状況ながらも、業況DIは▲56と大幅に回復した。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R2.7～9)	前期 (R2.10～12)	今期 (R3.1～3)	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲78	▲63	▲49	▲52
卸売業	▲70	▲62	▲60	▲50
小売業	▲74	▲66	▲60	▲52
サービス業	▲68	▲70	▲60	▲61
建設業	▲63	▲58	▲51	▲37
全体	▲71	▲64	▲56	▲51

※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、大幅に改善した。来期（今後3ヶ月間の見通し）においては、やや改善する見通しとなっている。業種別にみると、製造業、サービス業、建設業、小売業で大幅に改善し、卸売業はやや改善した。来期は建設業、卸売業、小売業で大幅に改善、サービス業は今期並、製造業ではやや悪化する見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、3月（速報）は生産、出荷、在庫は上昇、在庫率は低下となった。製造工業生産予測調査では、4月は前月比8.4%の上昇、5月は4.3%の低下を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている3月の消費者物価指数（2015年=100）は101.8（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）で0.2%上昇した。

品川区の今期の特徴点

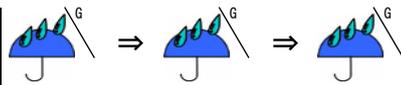


全体



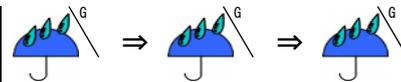
業況はかなり改善した。売上額、収益はともに減少幅がやや拡大した。販売価格は前期並となり、仕入価格は上昇傾向がやや強まった。資金繰りは前期並となった。

製造業



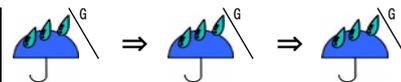
業況はかなり改善した。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅がやや拡大した。販売価格は下降傾向がかなり強まり、原材料価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は前期並となった。資金繰りは厳しさがやや増した。

卸売業



業況はやや改善した。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格は下降傾向がやや弱まり、仕入価格は上昇傾向がやや強まった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり増した。

小売業



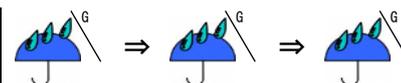
業況はかなり改善した。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格は下降傾向がやや強まり、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まった。在庫は過剰感がかなり改善した。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

サービス業



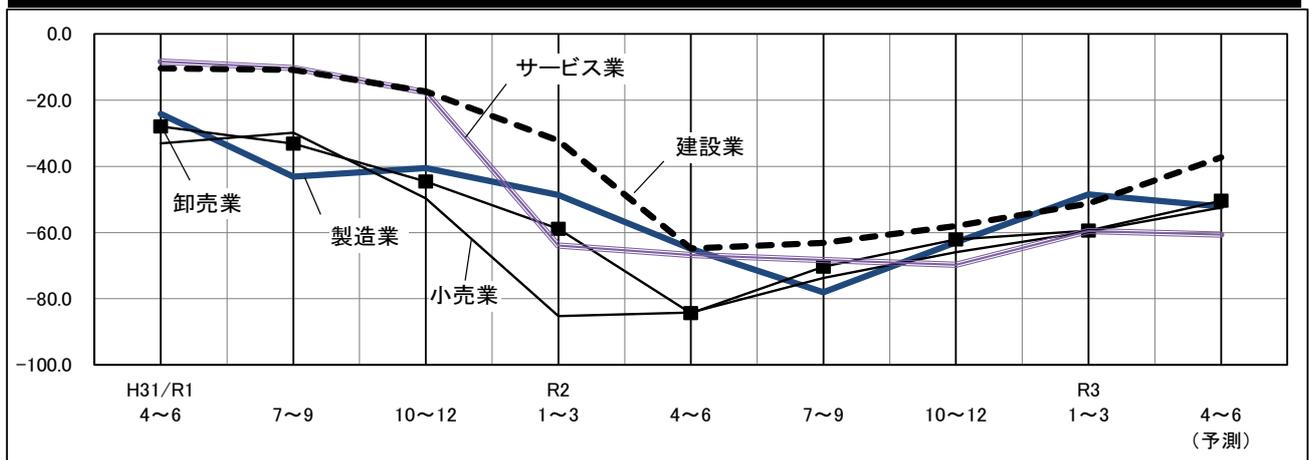
業況はかなり改善した。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は前期並となった。料金価格は下降傾向がやや弱まり、材料価格は上昇傾向がやや強まった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

建設業

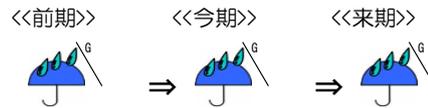


業況はかなり改善した。売上額は減少幅がやや縮小した。施工高、収益はともに減少幅がかなり縮小した。請負価格、材料価格はともに前期並となった。在庫は過剰感が改善した。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△63→△49)はかなり改善した。売上額(△31→△38)は減少幅がかなり拡大し、収益(△45→△48)は減少幅がやや拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は11ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△16→△28)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(10→23)は上昇傾向がかなり強まった。在庫(10→9)は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△27→△29)は厳しさがやや増し、借入難易度(6→11)は容易さがやや増した。今期借入れをした企業は36%で前期の39%から3ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

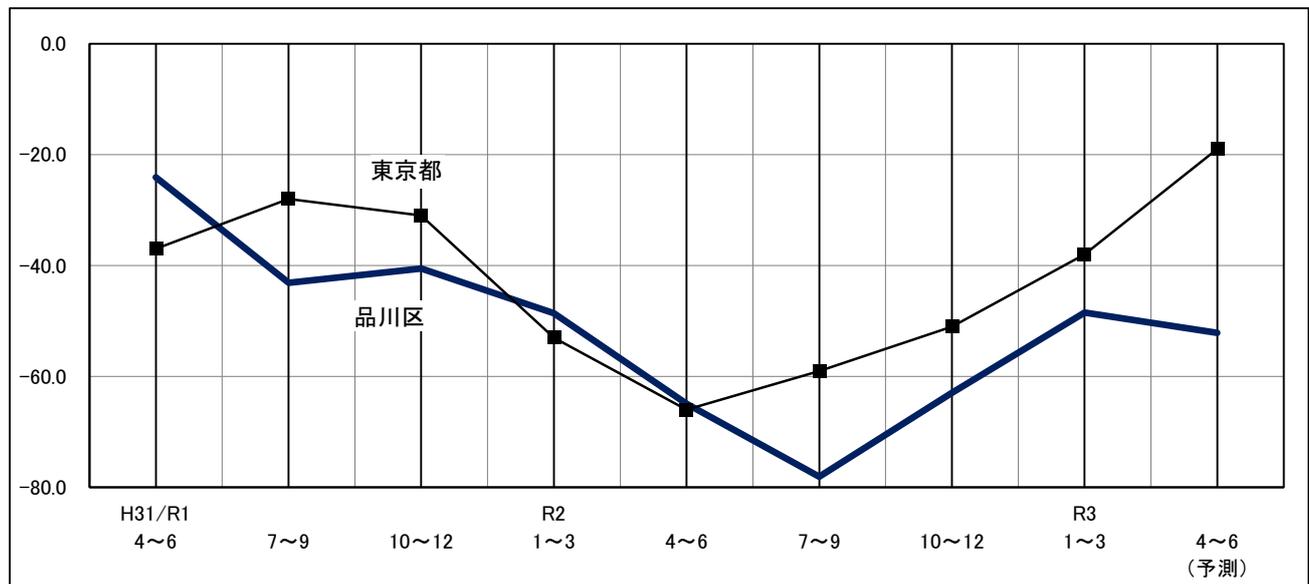
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が71%、2位は「工場・機械の狭小・老朽化」が25%、3位は「利幅の縮小」が21%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が59%、2位は「経費を節減する」が48%、3位は「新製品・技術を開発する」と「情報力を強化する」が21%となった。前期2位だった「販路を広げる」が、今期1位と順位を上げたが、上位の項目には入替がなかった。

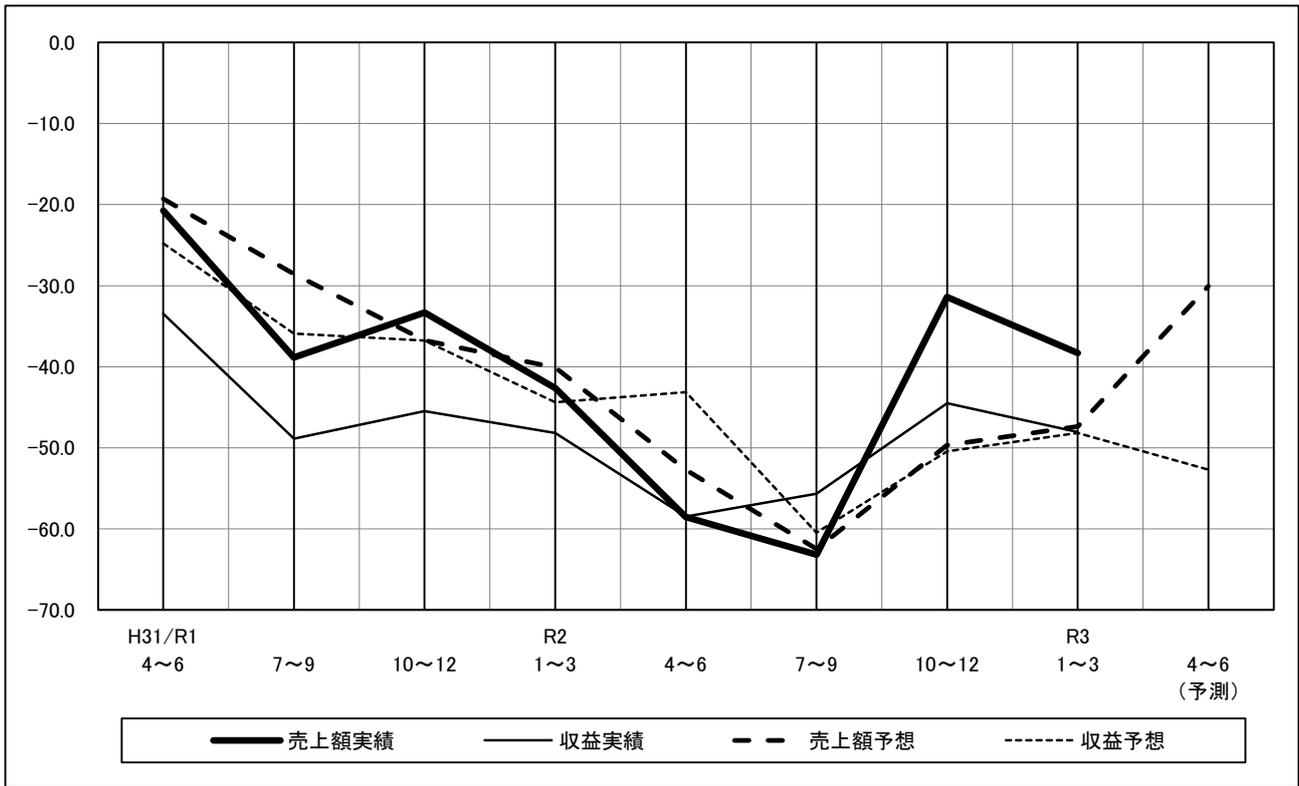
来期の見通し

業況(△49→△52)は低調感がやや強まる見込み。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。

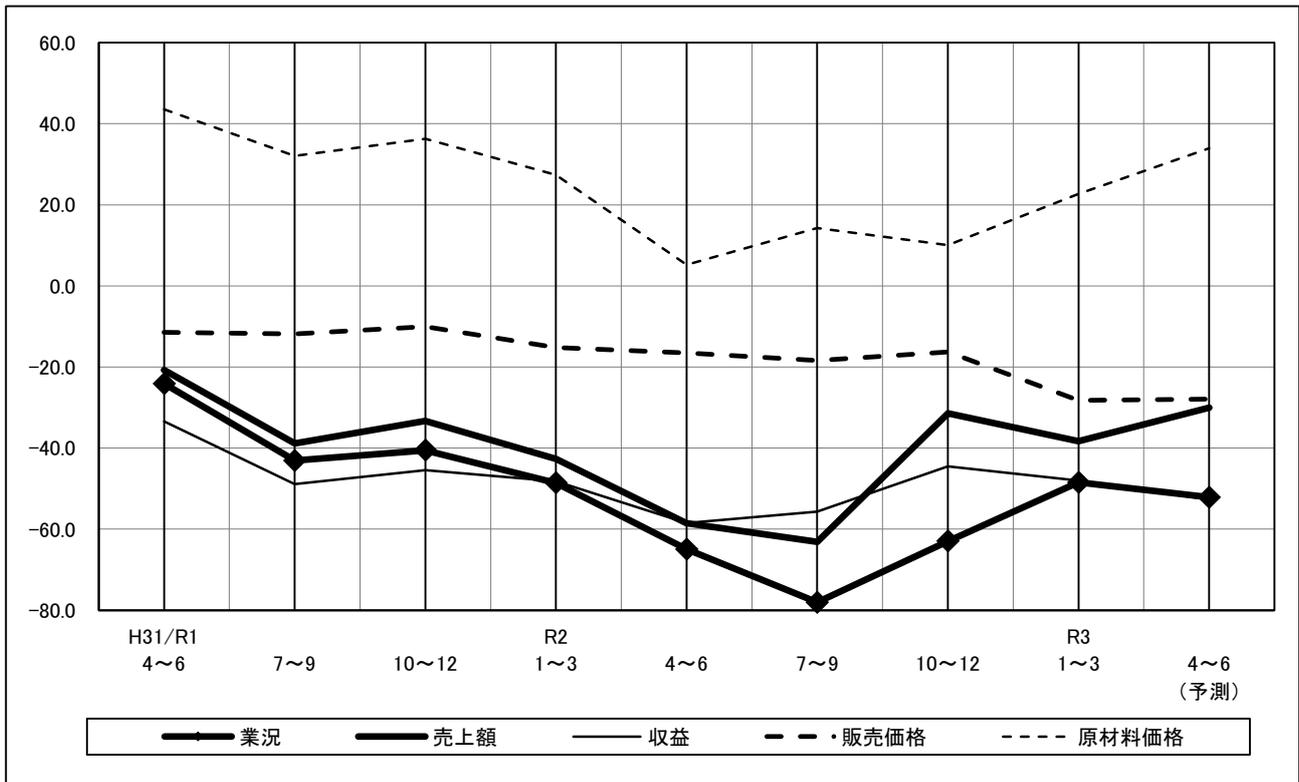
〈製造業〉品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



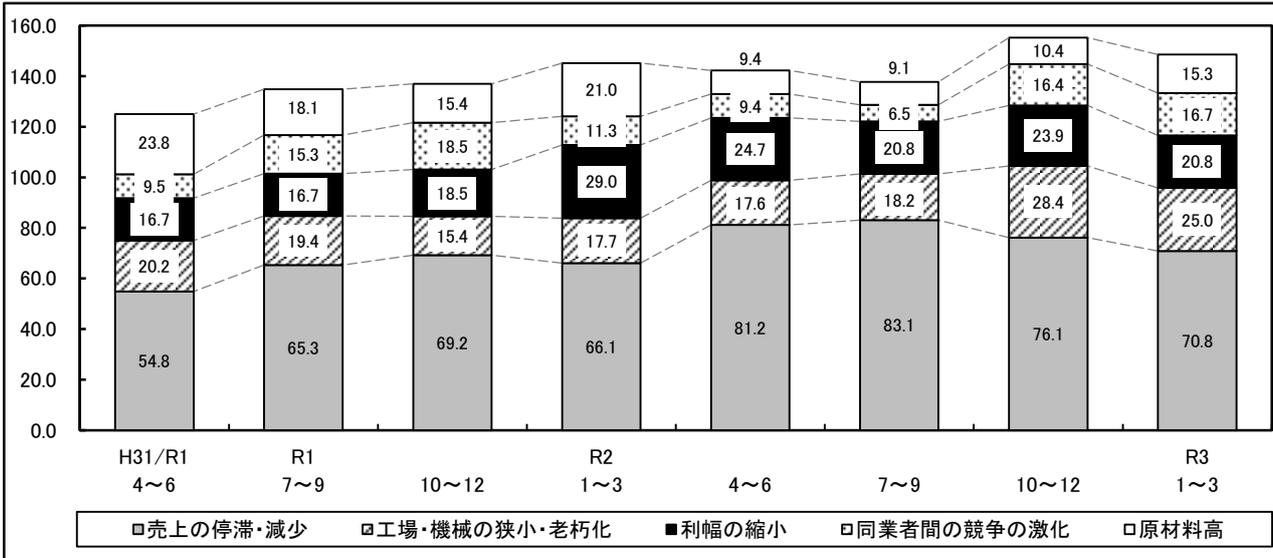
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

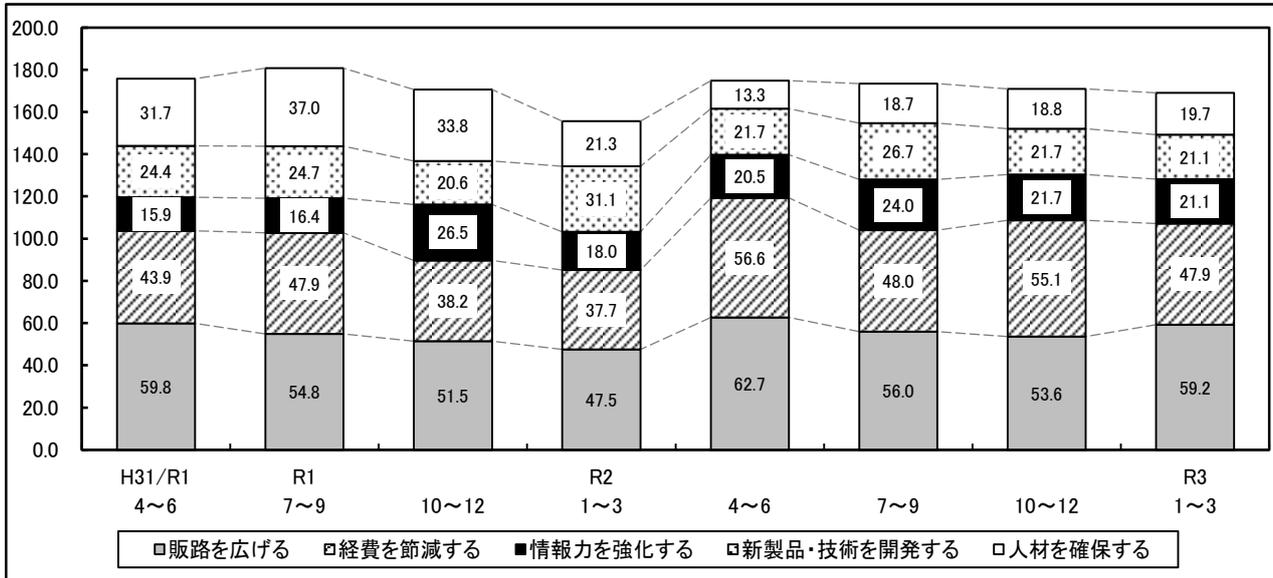


〈製造業〉 経営上の問題点 (%)



	R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期	
第1位	売上停滞・減少	81.2 %	売上停滞・減少	83.1 %	売上停滞・減少	76.1 %	売上停滞・減少	70.8 %
第2位	利幅の縮小	24.7 %	利幅の縮小	20.8 %	工場・機械の狭小・老朽化	28.4 %	工場・機械の狭小・老朽化	25.0 %
第3位	工場・機械の狭小・老朽化	17.6 %	工場・機械の狭小・老朽化	18.2 %	利幅の縮小	23.9 %	利幅の縮小	20.8 %
第4位	人件費の増加	11.8 %	合理化の不足 大手企業・工場の縮小・撤退	10.4 % 10.4 %	同業者間の競争の激化	16.4 %	同業者間の競争の激化	16.7 %
第5位	人手不足	10.6 %	原材料高 人件費以外の経費増加	9.1 % 9.1 %	大手企業・工場の縮小・撤退 人手不足	11.9 % 11.9 %	原材料高	15.3 %

〈製造業〉 重点経営施策 (%)



	R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期	
第1位	販路を広げる	62.7 %	販路を広げる	56.0 %	経費を節減する	55.1 %	販路を広げる	59.2 %
第2位	経費を節減する	56.6 %	経費を節減する	48.0 %	販路を広げる	53.6 %	経費を節減する	47.9 %
第3位	新製品・技術を開発する	21.7 %	新製品・技術を開発する	26.7 %	新製品・技術を開発する 情報力を強化する	21.7 % 21.7 %	情報力を強化する 新製品・技術を開発する	21.1 % 21.1 %
第4位	情報力を強化する	20.5 %	情報力を強化する	24.0 %	人材を確保する	18.8 %	人材を確保する	19.7 %
第5位	教育訓練を強化する	16.9 %	人材を確保する	18.7 %	教育訓練を強化する	11.6 %	教育訓練を強化する	18.3 %

(1) 電気機械器具

業況(△50→△62)は低調感がかなり強まった。売上額(△21→△39)、収益(△41→△59)はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格(7→△12)は上昇から下降に転じ、原材料価格(1→24)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△10→△4)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△69→△51)はかなり改善した。売上額(△48→△38)は減少幅がかなり縮小し、収益(△73→△49)は減少幅が極端に縮小した。販売価格(△10→△27)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(33→31)は上昇傾向がやや弱まった。資金繰り(△24→△29)は厳しさがやや増した。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△67→△46)は極端に改善した。売上額(△12→△44)、収益(△20→△48)はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格(△13→△39)は下降傾向が極端に強まり、原材料価格(11→0)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△24→△54)は厳しさが極端に増した。

来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△79→△31)は極端に改善した。売上額(△57→△14)、収益(△55→△25)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△54→△21)は下降傾向が極端に弱まり、原材料価格(△19→33)は上昇に転じた。資金繰り(△62→△27)は厳しさが極端に和らいだ。

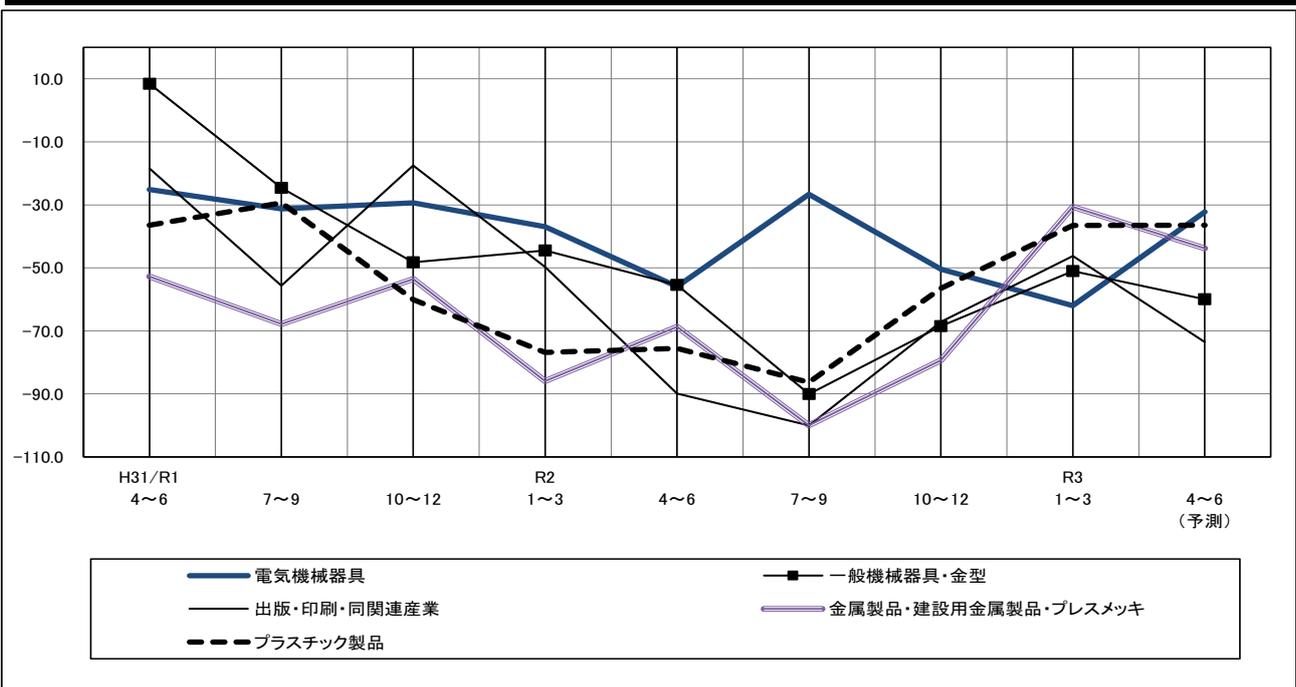
来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△57→△37)は極端に改善した。売上額(△39→△46)は減少幅がかなり拡大し、収益(△46→△48)は前期並となった。販売価格(△29→△45)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(10→24)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△22→△35)は厳しさがかなり増した。

来期の業況は今期並になると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



製造業 業種別コメント

<電気機械器具>

1. 売上が大幅に減少。
2. 年末から年始めにかけて注文が若干増えたが、季節商品が終わり、夏まで売上は期待できない。
3. アメリカと中国との貿易摩擦による景気の悪化と新型コロナウイルス感染症の影響により顧客の営業活動も滞り、当社の受注件数も減少ぎみである。
4. 一時的に増収増益。
5. ようやく新型コロナウイルス感染症前に戻りつつあるが、半導体不足が今後どのように響いてくるか不安。

<一般機械器具・金型>

1. コロナ禍の影響が遅れて着実に出てきている。自治体が力を尽くしていることは承知しているが、人手も足りず、仕事も減り、体力を削られていくことを考えると、今後の不安は拭えない。中請け業務の簡略化や、IT化が不足していると思う。
2. 新技術開発が進まず、人材の不足により。
3. 年度末を控え受注が減少傾向にあり、4月～6月期の景気動向が気になる。
4. 安定した受注状況にあるものの、社内人材の新陳代謝が回らず苦心している。
5. 客先が食品会社、食品加工会社、外食産業が多いので、新型コロナウイルス感染症の影響で引合い及び売上が不調。
6. 重要仕入先の職人の高齢化と後継者不足に先行きの不安を感じる。社内でも若返りが必要と考えており、人材確保と育成が目下の課題。
7. 主要顧客が低迷して、売上が著しく落ち込んでいる。
8. 新型コロナウイルス感染症のため公共事業の工事の延期が多く売上減少。
9. 自動車の生産台数が多くなるかどうか。
10. 売上は増加するものの、原材料価格の高騰により利益が少ない。

11. 昨年は新型コロナウイルス感染症のため、3月～5月までの3カ月間は受注ゼロでした。大学等が閉鎖になり2月～3月にかけて打ち合わせていた物が全て停止したが、6月より少しずつ回復してきました。2月～3月は大学の移設等が入り、一安心した所です。
12. 需要が減っている。
13. 販売商品が消耗品であるため、直接に市況の影響を直ぐに受ける事が少ない。ただし、客先の売上が二次的に反映されてくる。

<出版・印刷・同関連産業>

1. コロナ禍での経済停滞の影響をもろに受けている。感染対策も大事だが、経済を回さないと早晚廃業する事になる。
2. 印刷そのものの需要が減って、デジタル化が進む。ビジネスモデルの変換を迫られている。
3. 機械が老朽化している。新しくするには費用が掛かりすぎる。
4. 日本の印刷需要が減少しており、売上減少の月が続いている。
5. イベントができなくなり、パンフレットやアルバム等の受注が止まっています。

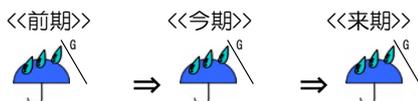
<金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ>

1. 大企業の進出により売上は減少傾向である。
2. 世代交代。
3. 得意先の仕事が増量することを願っています。
4. 売上減少が見込まれる。

<プラスチック製品>

1. 新型コロナウイルス感染症におけるイベント中止など、多重にわたり売上減。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△62→△60)はやや改善した。売上額(△43→△49)、収益(△44→△50)はともに減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は14ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△18→△16)は下降傾向がやや弱まり、仕入価格(16→18)は上昇傾向がやや強まった。在庫(11→14)は過剰感がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△9→△19)は厳しさがかなり増し、借入難易度(10→0)はかなり悪化した。今期借入れをした企業は40%で前期の46%から6ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

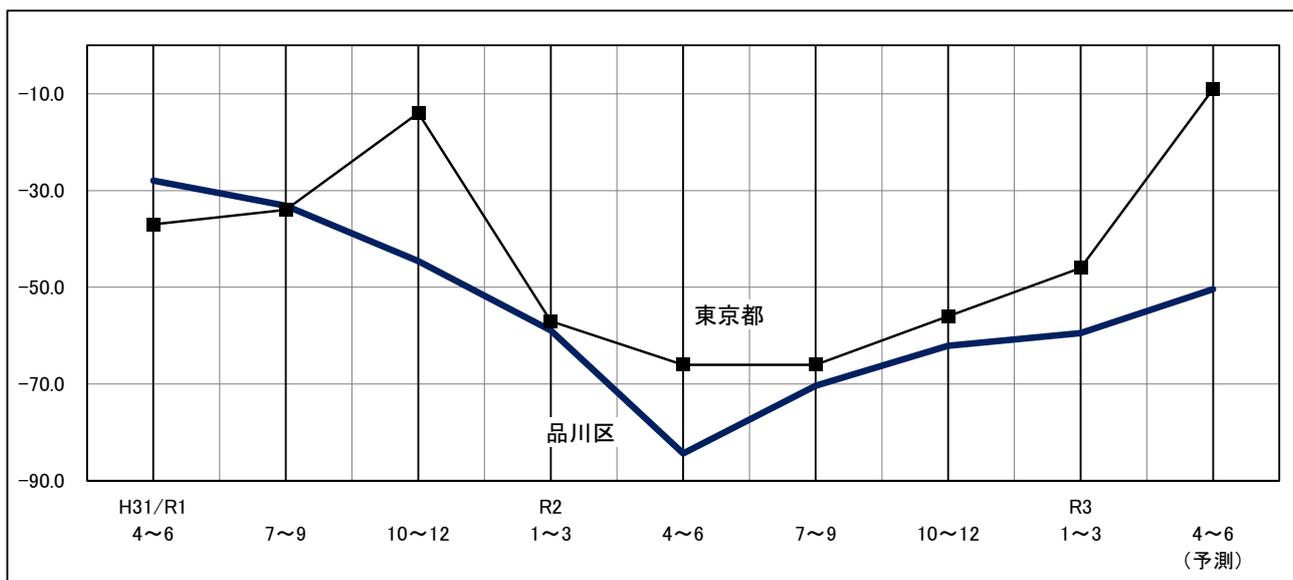
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が66%、2位は「利幅の縮小」が32%、3位は「同業者間の競争の激化」が21%となった。前期3位だった「利幅の縮小」が、今期2位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が59%、2位は「経費を節減する」が44%、3位は「情報力を強化する」が23%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

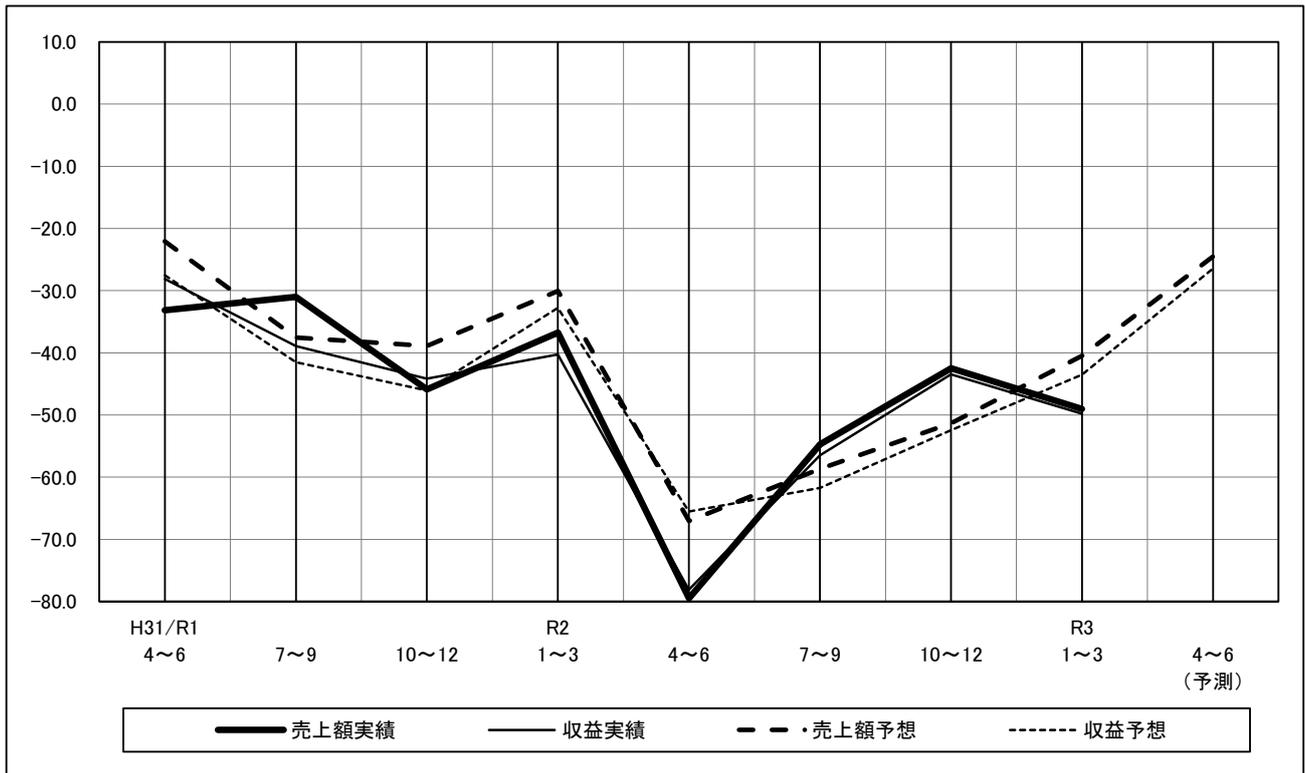
来期の見通し

業況(△60→△50)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小すると予想されている。

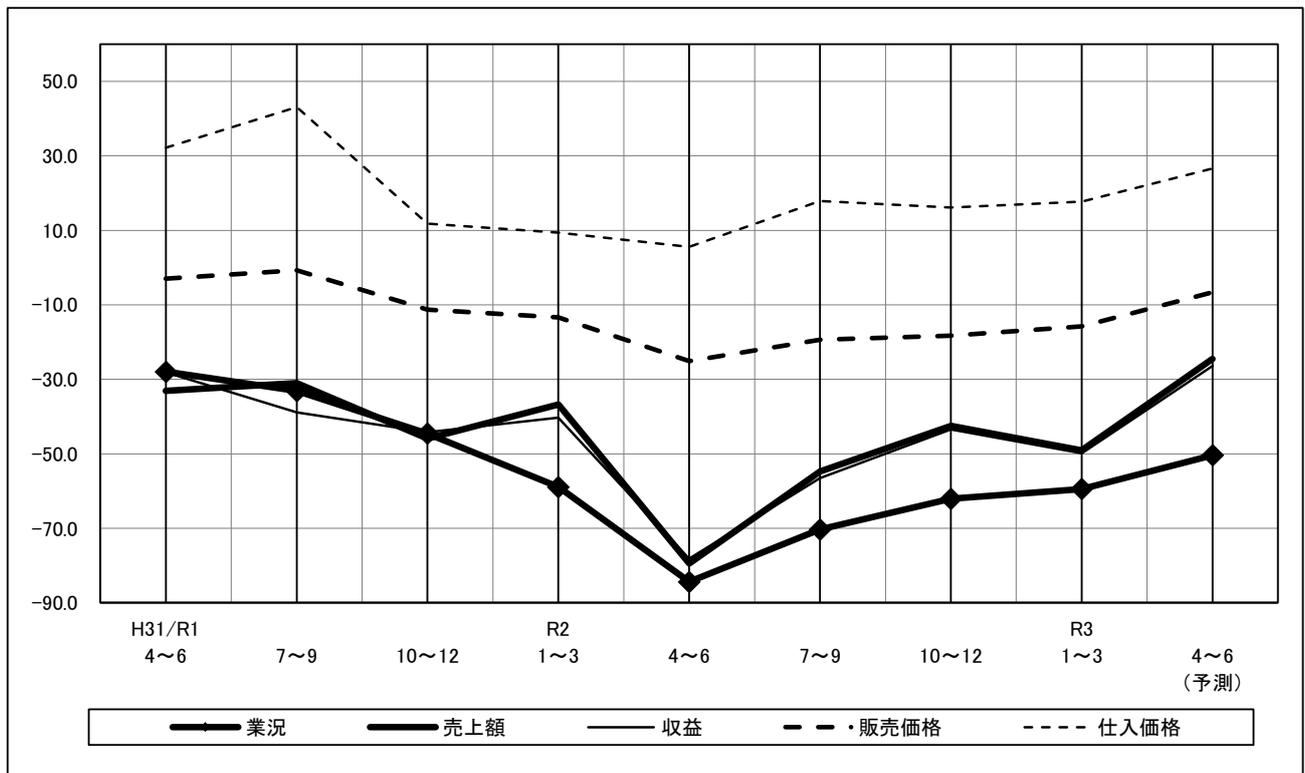
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



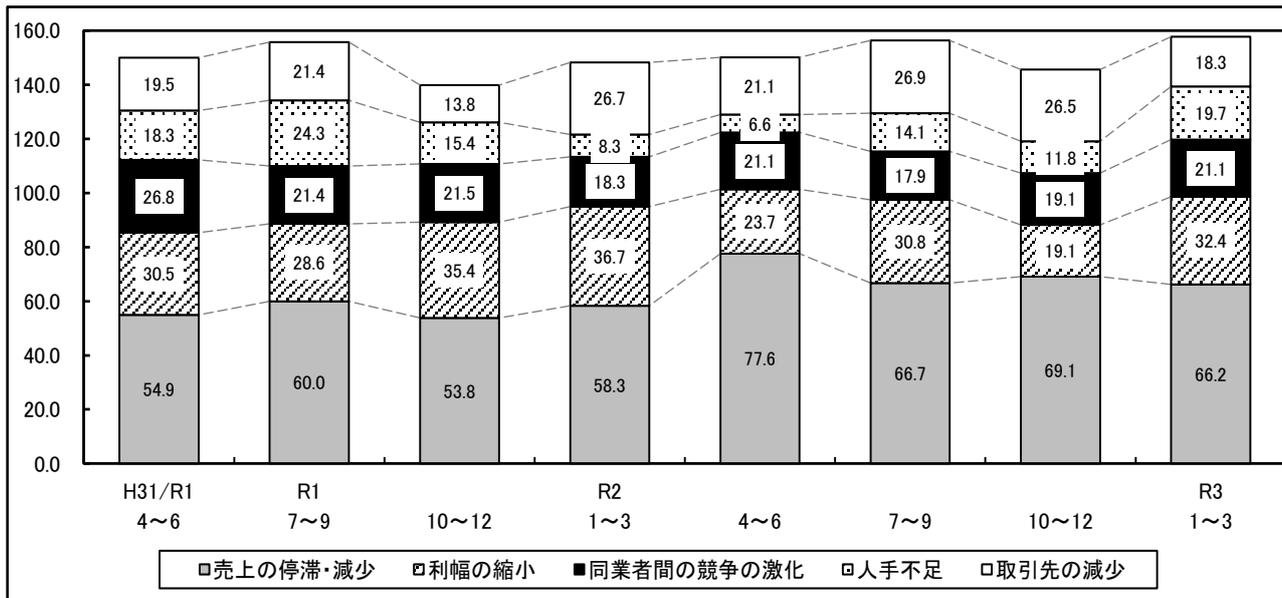
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

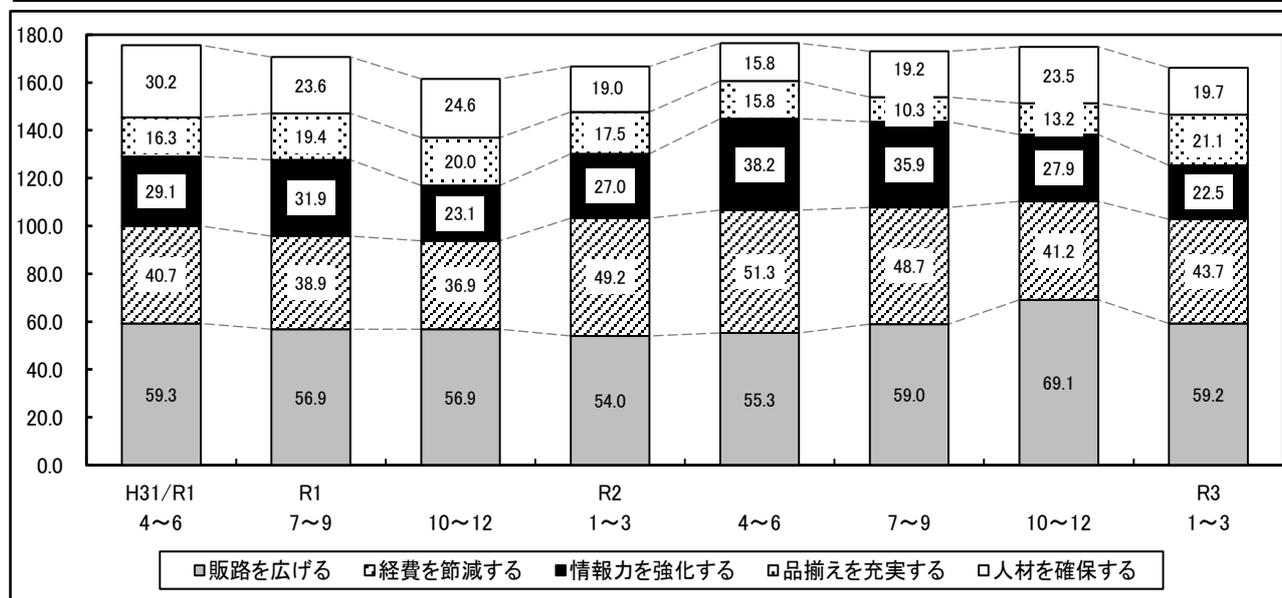


〈卸売業〉 経営上の問題点 (%)



	R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期	
第1位	売上停滞・減少	77.6 %	売上停滞・減少	66.7 %	売上停滞・減少	69.1 %	売上停滞・減少	66.2 %
第2位	利幅の縮小	23.7 %	利幅の縮小	30.8 %	取引先の減少	26.5 %	利幅の縮小	32.4 %
第3位	同業者間の競争の激化	21.1 %	取引先の減少	26.9 %	利幅の縮小	19.1 %	同業者間の競争の激化	21.1 %
	取引先の減少	21.1 %			同業者間の競争の激化	19.1 %		
第4位	人件費の増加	10.5 %	同業者間の競争の激化	17.9 %	小口注文・多頻度配送の増加	14.7 %	人手不足	19.7 %
第5位	流通経路の変化による競争の激化	9.2 %	人手不足	14.1 %	人手不足	11.8 %	取引先の減少	18.3 %
					合理化の不足	11.8 %		

〈卸売業〉 重点経営施策 (%)



	R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期	
第1位	販路を広げる	55.3 %	販路を広げる	59.0 %	販路を広げる	69.1 %	販路を広げる	59.2 %
第2位	経費を節減する	51.3 %	経費を節減する	48.7 %	経費を節減する	41.2 %	経費を節減する	43.7 %
第3位	情報力を強化する	38.2 %	情報力を強化する	35.9 %	情報力を強化する	27.9 %	情報力を強化する	22.5 %
第4位	品揃えを充実する	15.8 %	人材を確保する	19.2 %	人材を確保する	23.5 %	品揃えを充実する	21.1 %
	人材を確保する	15.8 %						
第5位	新しい事業を始める	10.5 %	品揃えを充実する	10.3 %	教育訓練を強化する	16.2 %	人材を確保する	19.7 %
			教育訓練を強化する	10.3 %				

卸売業 業種別コメント

1. 為替の悪化（円安）が不安。
2. テレワークや ZOOM ができない顧客との営業が難しい。
3. 品川区をはじめ、今回の新型コロナウイルス感染症対策融資は大変助かりました。
4. ステイホームではバッグが必要ないので、売上、利益共に減少。
5. 新型コロナウイルス感染症の影響により売上激減。
6. 出生数の減少によりマーケットが縮小している。
7. 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言及びその都市圏の延長や拡大により商況は低迷している。全体的な先行き不透明感による先行き不安により消費者の購買意欲も停滞している。
8. 新型コロナウイルス感染症で売上、利益減少傾向。営業マン2名増加するも大苦戦。
9. 新型コロナウイルス感染症による時短でお得意様の注文が激減。一時金も簡単にはもらえそうもないようです。書類の準備などに時間かかりそう。お客さんが今後どれだけ戻ってくるか不安が一杯です。
10. 取引先、開店など店舗数の減少のため、売上減少。
11. 飲食店、観光業の停滞により、売上が減少している。
12. 飲食店の閉店、短縮営業により、酒販店からお酒が入らない。こればかりはしばらく改善しないと思う。
13. 新型コロナウイルス感染症の影響で特に交通系の売上減。
14. 業務用食品販売しているが、コロナ禍が収束しない限り打つ手はなく業績は落ちるばかりで見通しはつきません。
15. 昨期の売上、今期の売上、共にほぼゼロなので前年比は“変わらず”としました。
16. 新型コロナウイルス感染症による売上の減少。
17. コロナ禍、台湾向けは安定して出荷出来ている。
18. 変わらず停滞感がある。新型コロナウイルス感染症で消費意欲が低下。
19. 海外製品の増加により弊社の取引先である中小企業も打撃を受けていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、廃業する取引先も増えている。今後も厳しい状況が続くと思われる。
20. 国内工場の減少で、負のスパイラルが続いています。
21. 需要が増えているが、商品の納期がかかりすぎてユーザーさんに迷惑をかけている。
22. 設備投資の減少に伴い売上額も減少。一部の原材料費の高騰による仕入額の増加。
23. 取引先の営業不振のため、営業が困難。
24. コロナ禍で延期になっていた作業が復活し、増収増益となった。
25. 人材不足による将来の事業継続に対する不安。
26. 慢性的な人手不足のため、販路を広げられず売上、利益は低迷する。
27. 新型コロナウイルス感染症による売上減少傾向。
28. 対面営業、特にアフターサービス等が出来ない状況が改善されるまで苦しい時期が続く恐れ。
29. 売上の減少、要因が新型コロナウイルス感染症によるものか、はかりかねる。
30. やや減収減益（時勢を考慮すれば仕方のない範囲）。海外製品の供給不安定による値上げ傾向。
31. 新型コロナウイルス感染症の中、増収増益となっている。販売先が大手コンビニ関係のため、巣ごもり需要が追い風になっている模様。
32. 競争が増えている。
33. 令和2年度時よりも著しく国内経済の悪化を感じます。令和3年1月～3月期は創業以来最も悪い数字となりました。また取引先の廃業やM&Aにより取引価格の見直しの要求もあり、弊社外も実態は相当悪いのでは。
34. 今後、材料価格上昇による仕入れコストが上がりそう。客先への値上げはむずかしいか不安である。
35. なるようにする。
36. 販路の拡大が進まない状況。
37. 新型コロナウイルス感染症の影響による買い控えがあるため、人流が起きれば売上は昨年よりは回復する。ただし根本的な市場環境の変化に対応するため新規事業にも挑戦を開始した。
38. 需要が減少し、減収減益が続いている。
39. メーカーが直接、大口取引先と直需扱いで取引するなど、流通経路が変化していて、どう対応するべきか考えあぐねている。小規模取引は価格下落傾向、大口取引はメーカー直売と挟み撃ちに合うような状況が出ている（これも需要の減少が原因かもしれない）。別の付加価値を付けて、商品ニーズの便利化、特殊化が必要か？現状が未来を予測しているように思う。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 66 \rightarrow \Delta 60$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 41 \rightarrow \Delta 51$)、収益 ($\Delta 48 \rightarrow \Delta 62$) は減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は 1 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 14$) は下降傾向がやや強まり、仕入価格 ($10 \rightarrow 4$) は上昇傾向がかなり弱まった。在庫 ($10 \rightarrow 4$) は過剰感がかなり改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 42 \rightarrow \Delta 37$) は厳しさがやや和らぎ、借入難易度 ($12 \rightarrow 7$) は容易さがやや縮小した。今期借入れをした企業は 62% で前期の 59% から 3 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

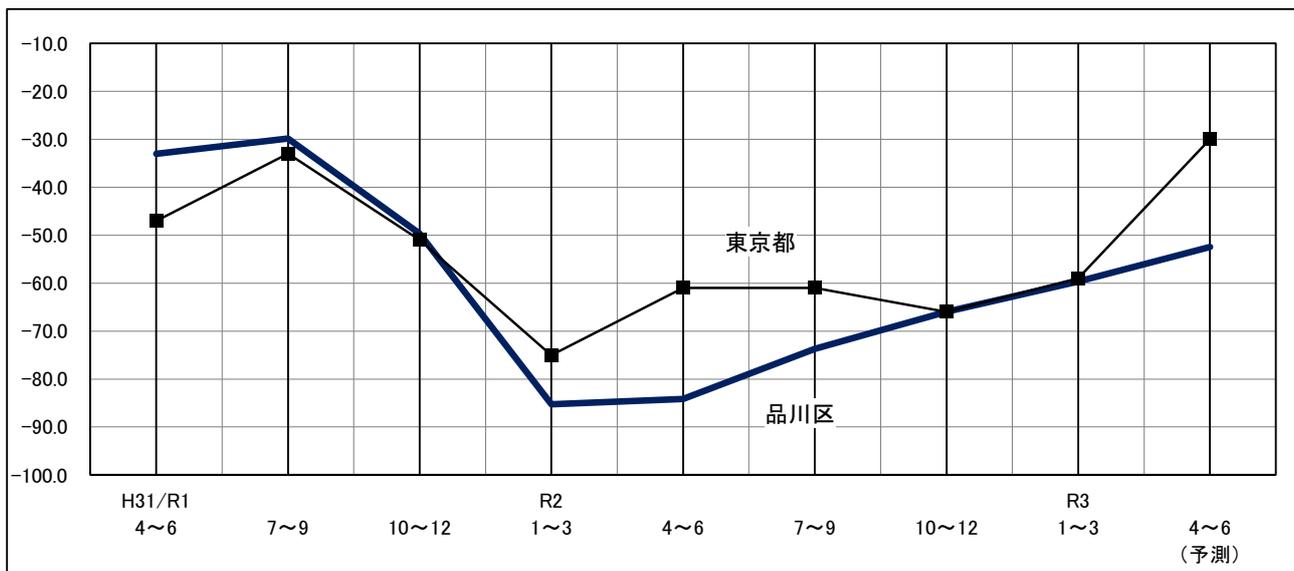
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 86%、2 位は「利幅の縮小」が 26%、3 位は「人手不足」が 19% となった。前期 3 位だった「利幅の縮小」が今期 2 位、前期 5 位だった「人手不足」が、今期 3 位となり順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「経費を節減する」が 55%、2 位は「品揃えを改善する」が 26%、3 位は「宣伝・広報を強化する」が 24% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかった。

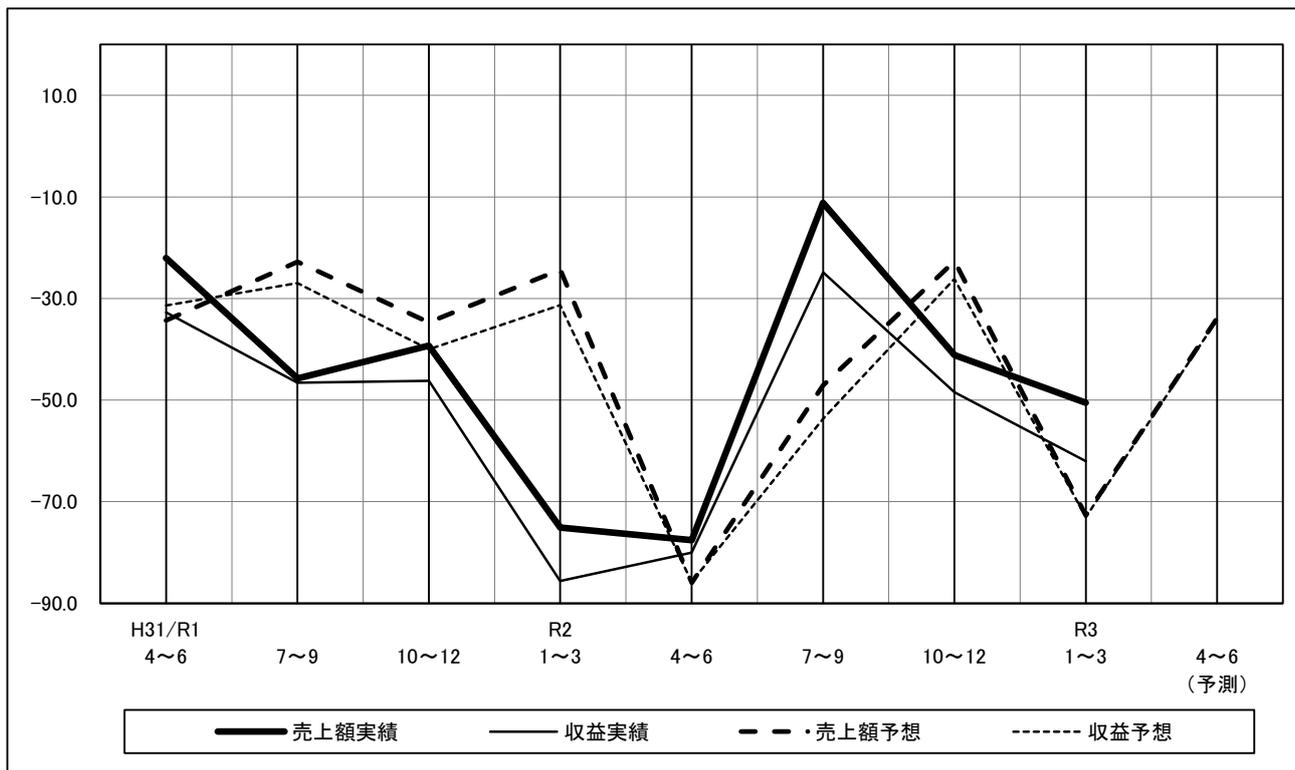
来期の見通し

業況 ($\Delta 60 \rightarrow \Delta 52$) はかなり改善する見込み。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は減少幅が極端に縮小すると予想されている。

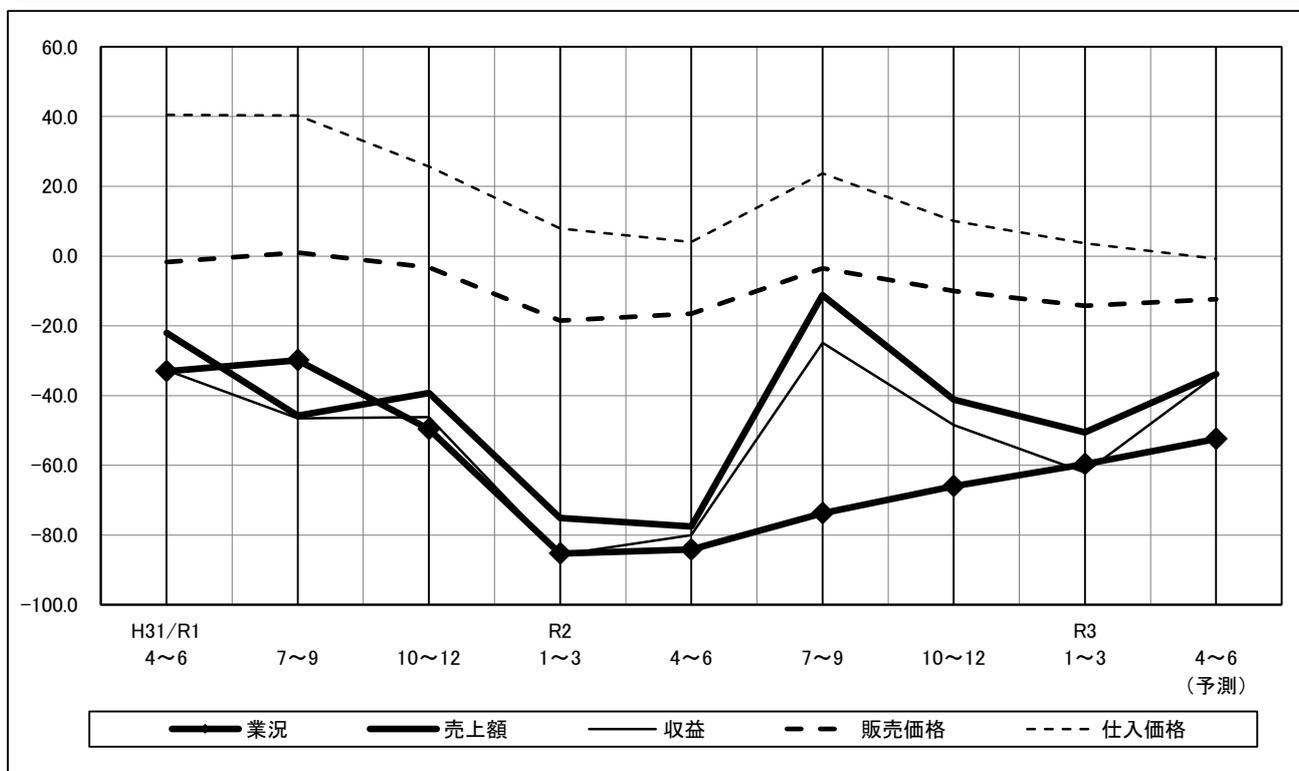
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



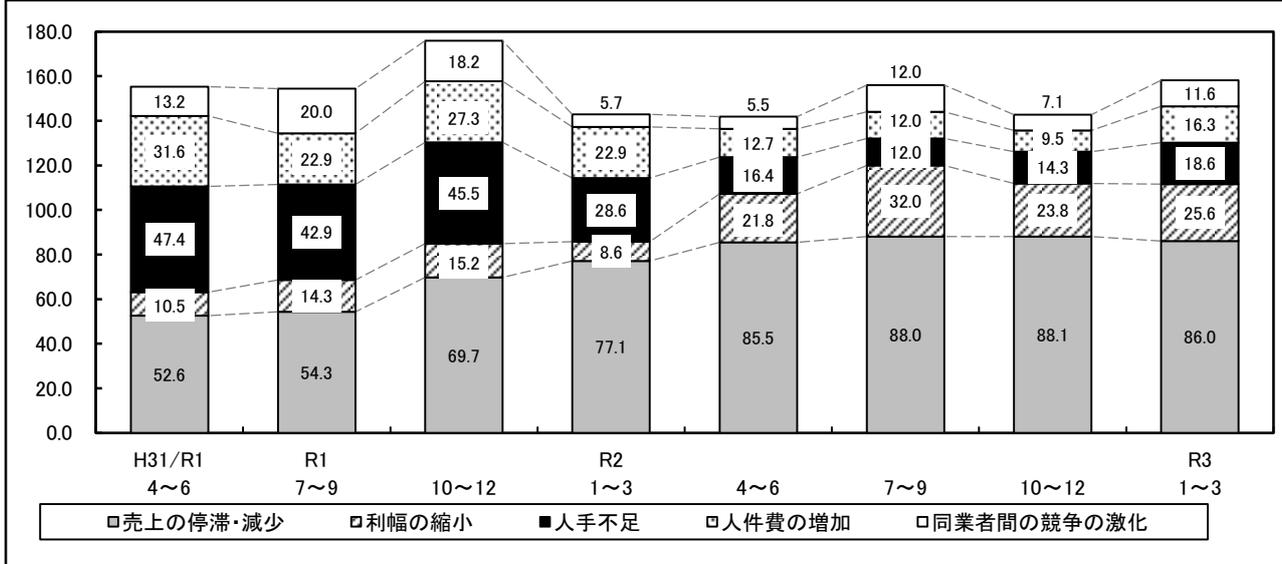
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

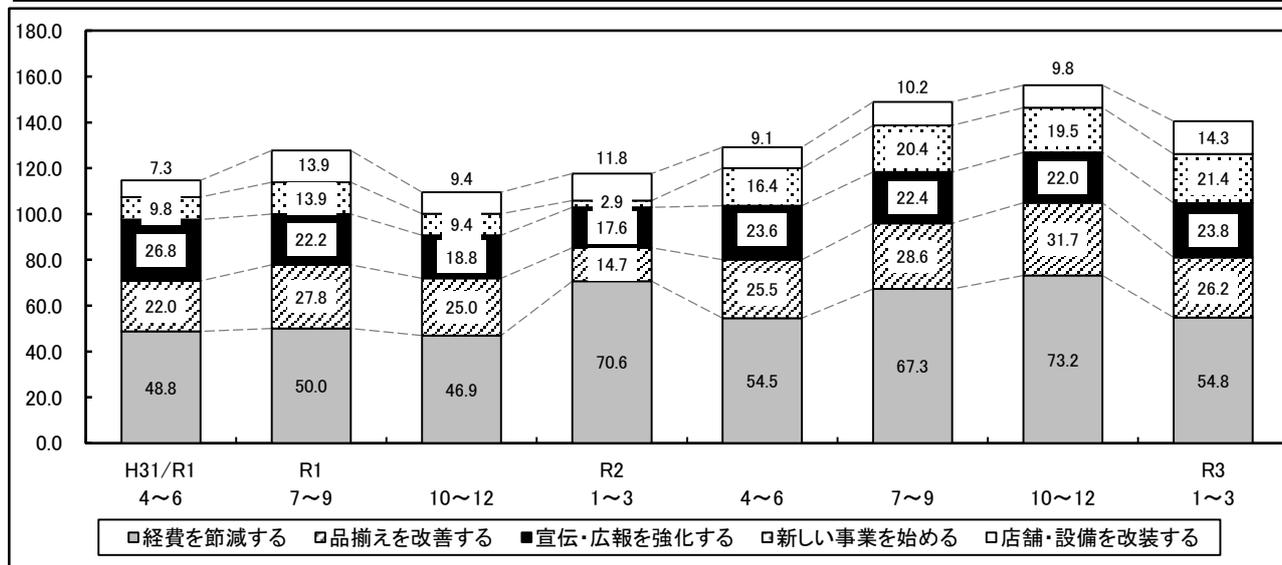


〈小売業〉 経営上の問題点 (%)



	R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期	
第1位	売上停滞・減少	85.5 %	売上停滞・減少	88.0 %	売上停滞・減少	88.1 %	売上停滞・減少	86.0 %
第2位	利幅の縮小	21.8 %	利幅の縮小	32.0 %	商店街の集客力の低下	31.0 %	利幅の縮小	25.6 %
第3位	その他	18.2 %	商店街の集客力の低下 商圏人口の減少	18.0 % 18.0 %	利幅の縮小	23.8 %	人手不足	18.6 %
第4位	人手不足	16.4 %	人手不足 人件費の増加 同業者間の競争の激化	12.0 % 12.0 % 12.0 %	取引先の減少	16.7 %	人件費の増加	16.3 %
第5位	天候の不順	14.5 %	天候の不順 取引先の減少	10.0 % 10.0 %	人手不足	14.3 %	同業者間の競争の激化 取引先の減少 商店街の集客力の低下	11.6 % 11.6 % 11.6 %

〈小売業〉 重点経営施策 (%)



	R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期	
第1位	経費を節減する	54.5 %	経費を節減する	67.3 %	経費を節減する	73.2 %	経費を節減する	54.8 %
第2位	品揃えを改善する	25.5 %	品揃えを改善する	28.6 %	品揃えを改善する	31.7 %	品揃えを改善する	26.2 %
第3位	宣伝・広報を強化する	23.6 %	売れ筋商品を取扱う	24.5 %	宣伝・広報を強化する	22.0 %	宣伝・広報を強化する	23.8 %
第4位	売れ筋商品を取扱う	21.8 %	宣伝・広報を強化する	22.4 %	新しい事業を始める	19.5 %	新しい事業を始める	21.4 %
第5位	新しい事業を始める	16.4 %	新しい事業を始める	20.4 %	商店街事業を活性化させる	17.1 %	店舗・設備を改装する 営業時間を延長する 売れ筋商品を取扱う	14.3 % 14.3 % 14.3 %

(1) 飲食料品

業況(△28→△11)はかなり改善した。売上額(△17→△30)は減少幅がかなり拡大し、収益(△31→△26)は減少幅がやや縮小した。販売価格(△3→△27)は下降傾向が極端に強まり、仕入価格(12→6)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△25→△32)は厳しさがかなり増した。来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

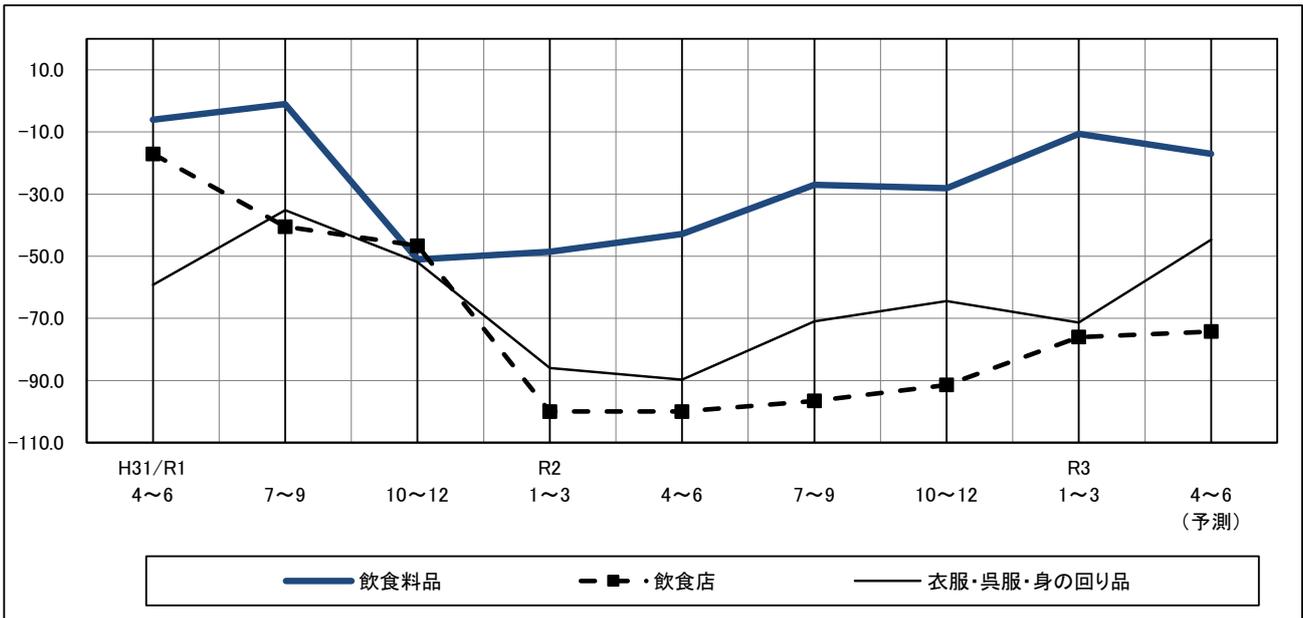
(2) 飲食店

業況(△91→△76)はかなり改善した。売上額(△70→△52)は減少幅がかなり縮小し、収益(△68→△68)は前期並となった。販売価格(△13→△7)は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格(12→11)は前期並となった。資金繰り(△60→△32)は厳しさが極端に和らいだ。来期の業況はやや改善すると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△64→△71)は低調感がかなり強まった。売上額(△32→△61)は減少幅が極端に拡大し、収益(△43→△76)は減少幅が極端に拡大した。販売価格(△12→△19)は下降傾向がかなり強まり、仕入価格(5→△11)は上昇から下降に転じた。資金繰り(△33→△48)は厳しさがかなり増した。来期の業況は極端に改善すると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

<飲食料品>

1. テナント業だがデベロッパーの撤退、店舗撤退等でテナントとして辞めざるをえない。売上、利益減少で企業の存続が心配。
2. 人手が足りない。
3. 酒類は大型店との価格競争の問題外。当店の仕入額よりビール類等は低くどうしようもない状況です。大型店との価格差は個店ではかきません。クリーニング取扱、新型コロナウイルス感染症によりサラリーマンの利用が70%も落ち込み。
4. 百貨店や量販店の売上減少のため。基本的には利益の薄い百貨店の売上が下がる事で脱量販店への転換を考えなければならない。
5. コンビニを2店舗経営しているが、取り巻く環境が厳しい。

<飲食店>

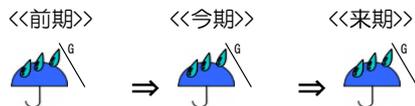
1. 商店街の集客力の低下。売上低迷。
2. 新型コロナウイルス感染症による客減少。緊急事態宣言があけても、すぐに客足が戻るとは思えない。
3. 現在休業中のため、売上はない。
4. 時短営業が終わらないとどうにもならない。
5. 飲食店の時短営業要請で純売上が減少したものの、助成金や協力金のお陰で経営が成り立っている。
6. 小規模なので持続化給付金は助かります。
7. 人件費と売上のバランスが上手くとれない。
8. 新型コロナウイルス感染症による営業時間減少のため、売上が50%減少した。
9. 新型コロナウイルス感染症の時短要請による売上減少。新型コロナウイルス感染症の自粛要請による売上減少。
10. 緊急事態宣言、営業時間短縮要請の繰り返しで来客人員の落ち込みが激しく、資金繰りがかなり厳しくなっている。これが今後1~2年続くと考えていかなければならないだろう。

11. デリバリーサービスの手数料が経費としてかなり高くなってしまっている。
12. 新型コロナウイルス感染症の影響で売上が大きく減少。
13. コロナ禍での自粛により、来店客数が減少している。
14. 新型コロナウイルス感染症の時短により営業時間が短縮され、売上が減少している。
15. 飲食店における集団(4人以上)の利用が無くなり、売上が見込めない。また外食利用を変化させる手段が無く、今後も難しいと考えています。

<衣服・呉服・身の回り品>

1. 来店数は少し減少。他社との競争激化により契約率の低下。さらに、競争激化による広告宣伝費の増大のため、収益の減少。
2. 緊急事態宣言の延長により、外出自粛傾向が続いているため、売上がゼロの状態が続いています。
3. コロナ禍で顧客の購買意欲が低下し、来店数が極端に減っている。
4. 新型コロナウイルス感染症防止のため、不要不急の外出をやめましょう推進のため、客足が減り、特に流行品を販売する店にとっては致命的に悪化している。早くこの状態を改善し、平常の生活に戻るまで景況感は悪いと思う。
5. 先はわからない。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 70 \rightarrow \Delta 60$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 48 \rightarrow \Delta 42$) は減少幅がかなり縮小し、収益 ($\Delta 47 \rightarrow \Delta 49$) は前期並となった。
 なお、全都と比較した当区の業況は 24 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

料金価格 ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 13$) は下降傾向がやや弱まり、材料価格 ($6 \rightarrow 10$) は上昇傾向がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 34 \rightarrow \Delta 30$) は厳しさがやや和らぎ、借入難易度 ($\Delta 5 \rightarrow \Delta 2$) はやや改善した。今期借入れをした企業は 34% で前期の 37% から 3 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

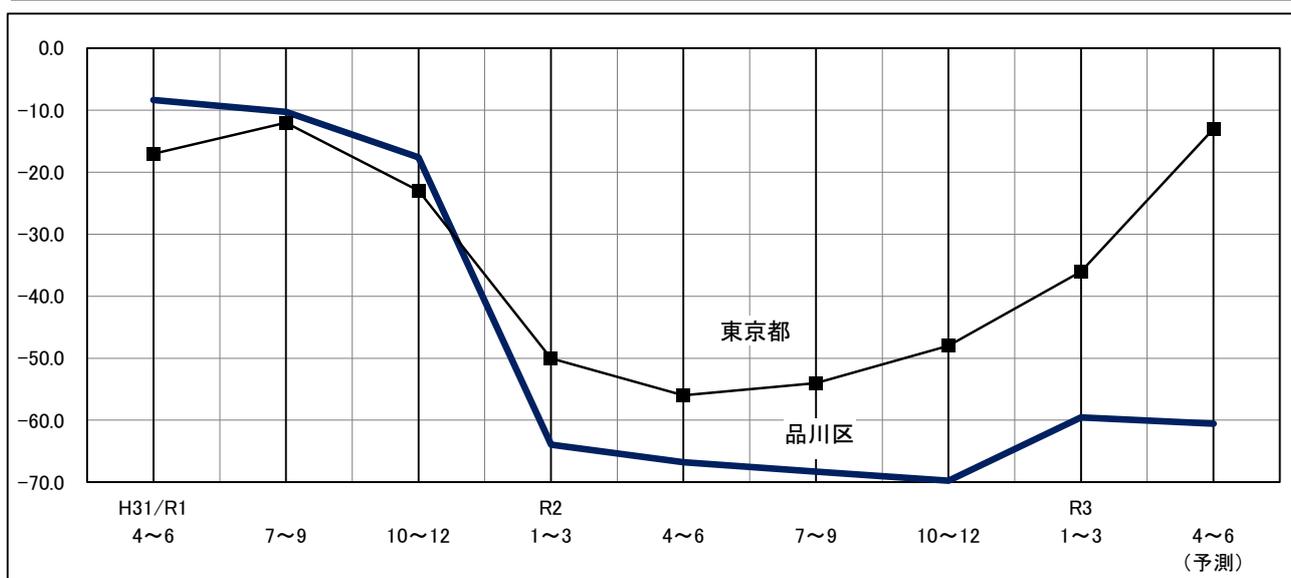
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 59%、2 位は「人手不足」が 35%、3 位は「人件費の増加」が 25% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 44%、2 位は「経費を節減する」が 41%、3 位は「人材を確保する」が 40% となった。前期 2 位だった「販路を広げる」が、今期 1 位と順位を上げたが、上位の項目には入替がなかった。

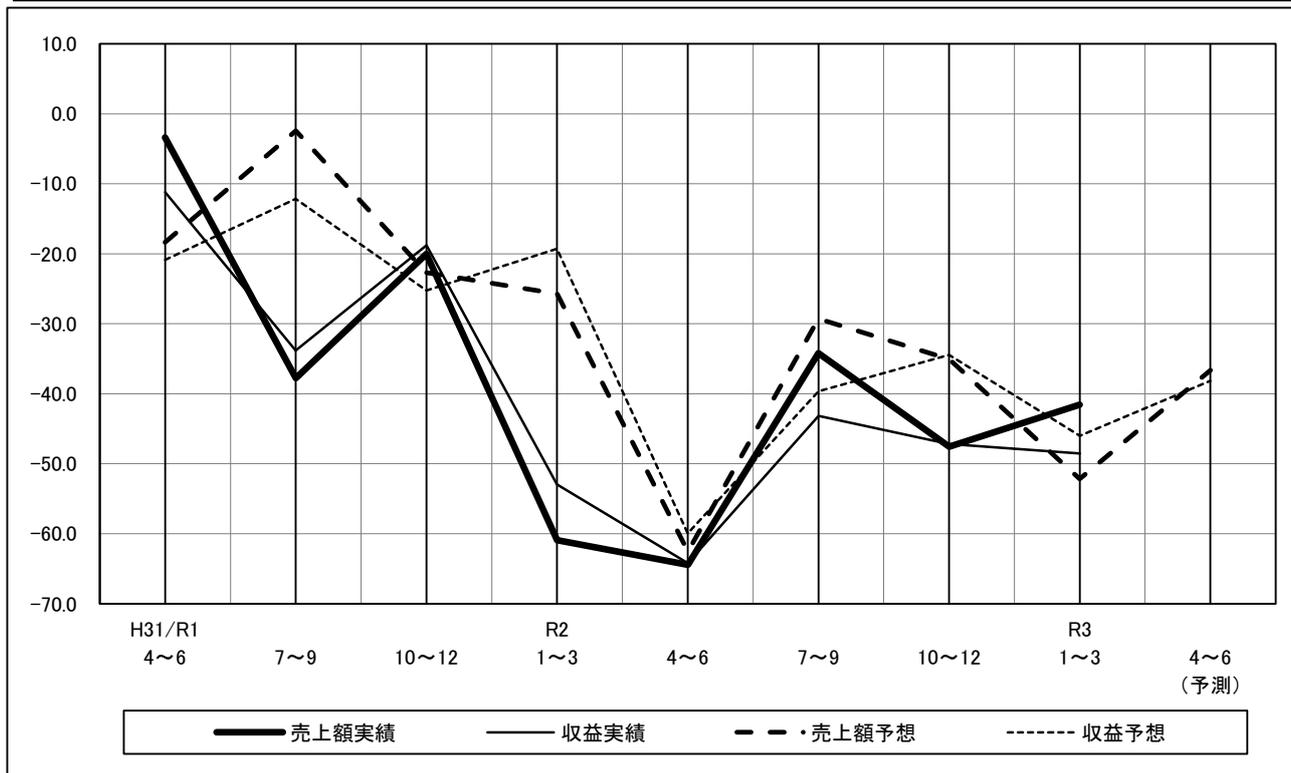
来期の見通し

業況 ($\Delta 60 \rightarrow \Delta 61$) は今期並となる見込み。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少幅がかなり縮小すると予想されている。

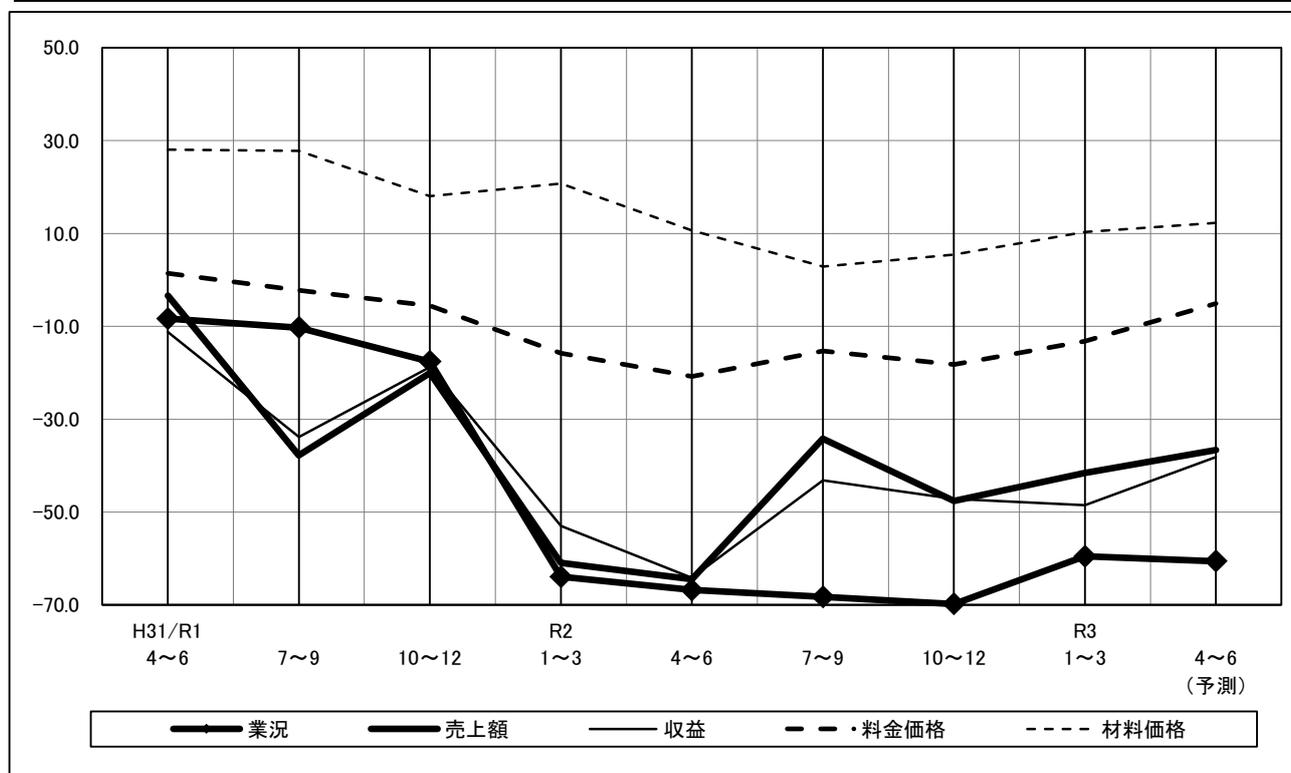
〈サービス業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



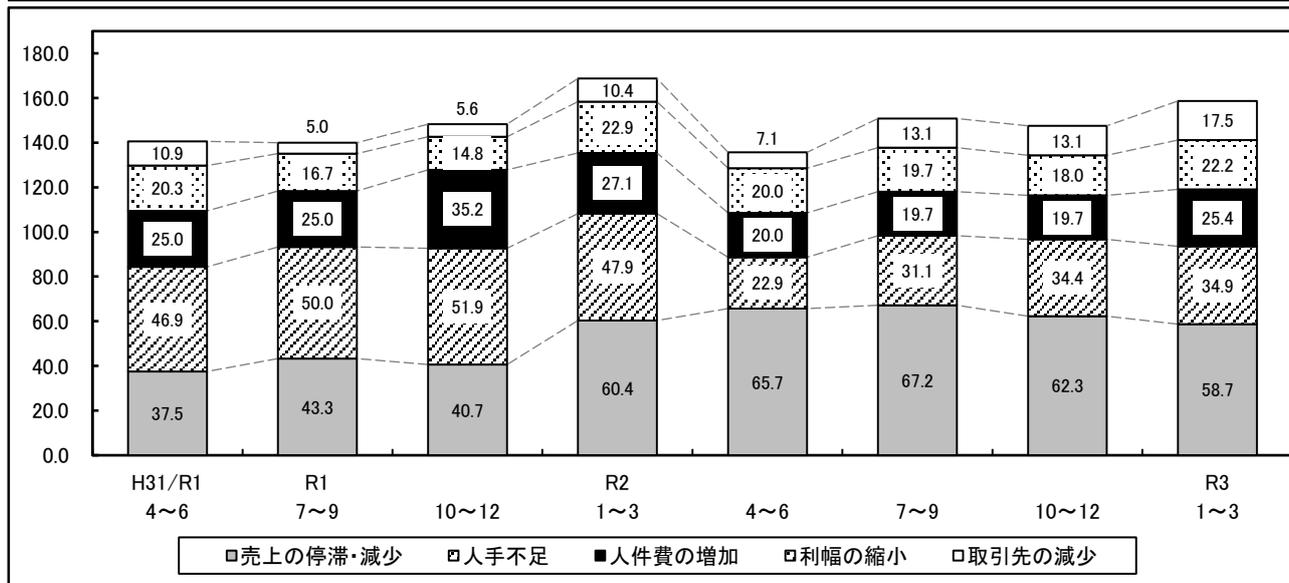
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

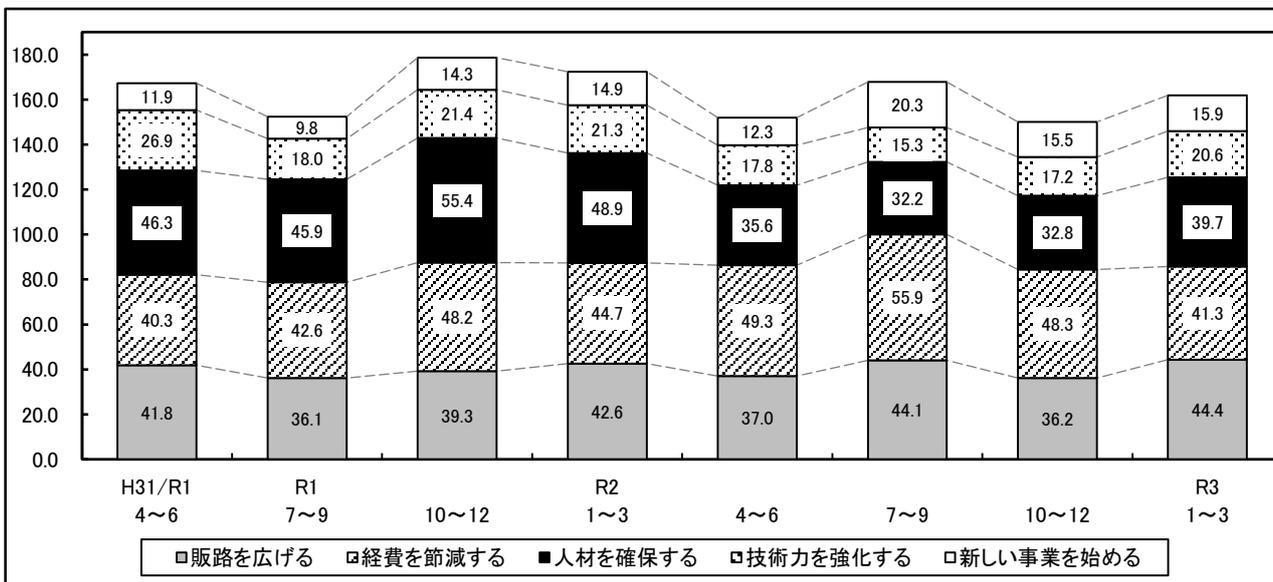


〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R2.4～6月期		R2.7～9月期		R2.10～12月期		R3.1～3月期	
第1位	売上の停滞・減少	65.7 %	売上の停滞・減少	67.2 %	売上の停滞・減少	62.3 %	売上の停滞・減少	58.7 %
第2位	人手不足	22.9 %	人手不足	31.1 %	人手不足	34.4 %	人手不足	34.9 %
第3位	利幅の縮小	20.0 %	利幅の縮小	19.7 %	人件費の増加	19.7 %	人件費の増加	25.4 %
	人件費の増加	20.0 %	人件費の増加	19.7 %				
第4位	同業者間の競争の激化	15.7 %	同業者間の競争の激化	14.8 %	利幅の縮小	18.0 %	利幅の縮小	22.2 %
第5位	その他	11.4 %	取引先の減少	13.1 %	同業者間の競争の激化	16.4 %	取引先の減少	17.5 %

〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R2.4～6月期		R2.7～9月期		R2.10～12月期		R3.1～3月期	
第1位	経費を節減する	49.3 %	経費を節減する	55.9 %	経費を節減する	48.3 %	販路を広げる	44.4 %
第2位	販路を広げる	37.0 %	販路を広げる	44.1 %	販路を広げる	36.2 %	経費を節減する	41.3 %
第3位	人材を確保する	35.6 %	人材を確保する	32.2 %	人材を確保する	32.8 %	人材を確保する	39.7 %
第4位	技術力を強化する	17.8 %	新しい事業を始める	20.3 %	技術力を強化する	17.2 %	技術力を強化する	20.6 %
第5位	教育訓練を強化する	13.7 %	技術力を強化する	15.3 %	新しい事業を始める	15.5 %	新しい事業を始める	15.9 %
					教育訓練を強化する	15.5 %		

サービス業 業種別コメント

1. コロナ禍でお客様の予約を減らして営業を続けています。コロナ禍で備品などの経費が増えましたが、売上は伸びません。
2. 4月の技術者の採用が決まりましたので、売上増加になれば良いと思っています。
3. コロナ禍での低迷が続く。国際線航路が回復しない限り、経営は成り立たない。
4. 最悪な状況。
5. 新型コロナウイルス感染症の影響により入客数、売上が大幅に下がり、開業以来の赤字経営となっている。原価の縮小には限界がある。
6. コロナ禍、行動の自粛化を徹底したところ、微増ではあるが経営利益が増えた。新型コロナウイルス感染症が今後中小企業者にどのような影響をもたらすか、なかなか見通しが立てられない状況下にある。
7. 新規の案件が新型コロナウイルス感染症により停滞しているが、現状の維持はできている。
8. 同一労働同一賃金の法改正。
9. 従業員の高齢化が進み、モチベーション維持が図れない。営業力の低下により、長年新規開拓されていない。
10. 新型コロナウイルス感染症で受注、売上が減少している。
11. 新型コロナウイルス感染症の影響によりまだまだ先行き見えない状況。
12. 現状維持で足踏みしている。成長要因が見出せていない。
13. 人手不足、パートの有休、賃金UPが大変。
14. 大口の案件を受注し、増収となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、個人客は大幅に減少している。
15. 人手不足。定着しない。
16. 昨年と比べて全く手応えなし。世界的な新型コロナウイルス感染症で経済への影響が大きい。
17. 大口取引先との取引が拡大している。
18. 新型コロナウイルス感染症の影響を取り戻そうという発注が増えている。
19. コロナ禍でかなり厳しい状況。ふんばるのみ。
20. クライアントからの発注が激減。
21. 新型コロナウイルス感染症による人流がないこと。
22. 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることはないが、今後の先行きは不透明。在宅勤務への対応と生産性向上が課題として残っている。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 58 \rightarrow \Delta 51$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 42 \rightarrow \Delta 38$) は減少幅がやや縮小し、施工高 ($\Delta 41 \rightarrow \Delta 32$)、収益 ($\Delta 50 \rightarrow \Delta 36$) はともに減少幅がかなり縮小した。

価格・在庫動向

請負価格 ($\Delta 33 \rightarrow \Delta 32$)、材料価格 (17→19) はともに前期並となった。在庫 (4→0) は過剰感が改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 24 \rightarrow \Delta 21$) は厳しさがやや和らぎ、借入難易度 (4→ $\Delta 6$) は厳しい状況に転じた。今期借入れをした企業は34%で前期の31%から3ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

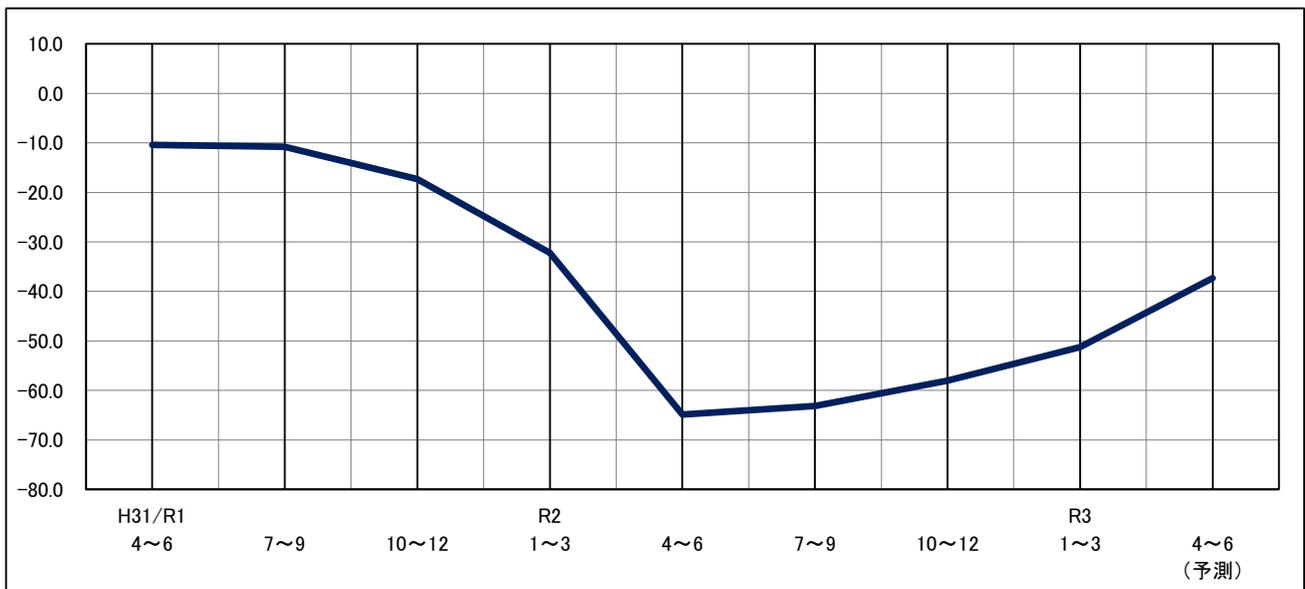
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が45%、2位は「人手不足」が36%、3位は「利幅の縮小」が30%となり、上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が46%、2位は「販路を広げる」が40%、3位は「技術力を高める」が39%となった。前期1位だった「経費を削減する」は、今期4位に順位を下げた。

来期の見通し

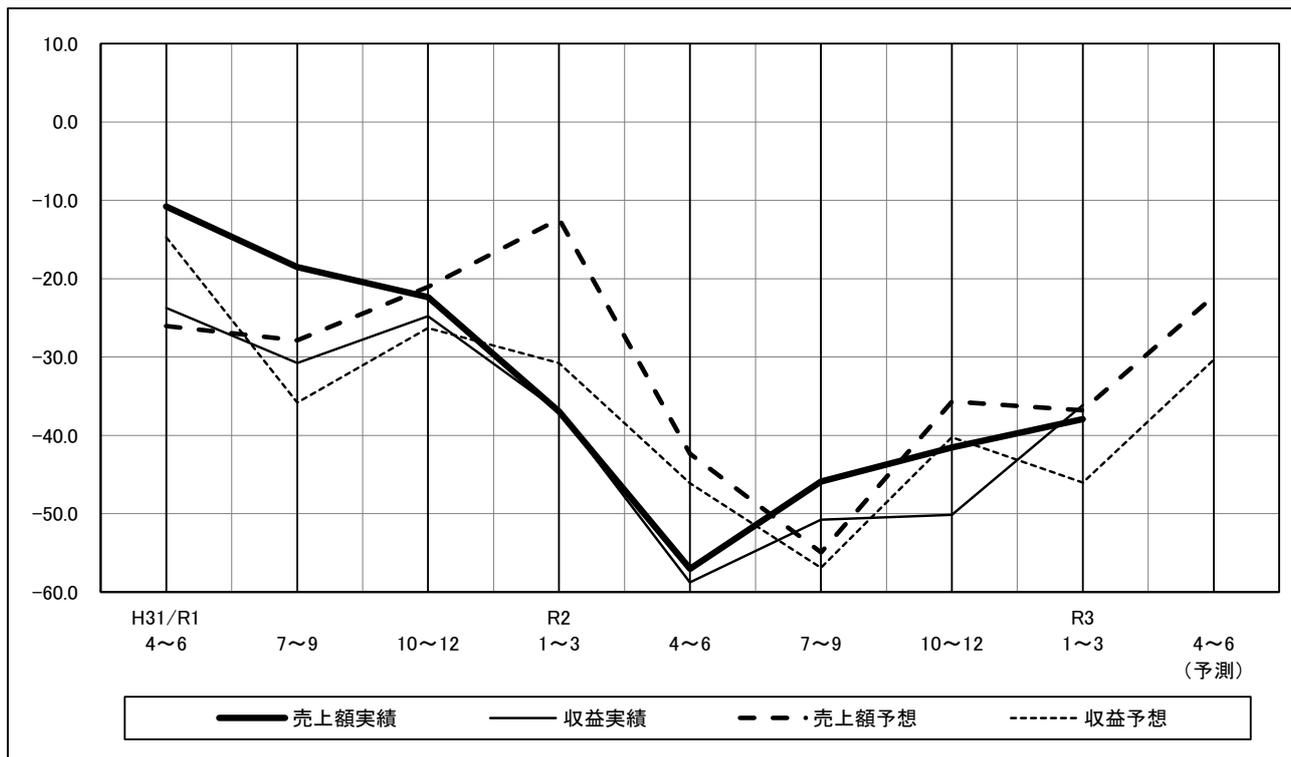
業況 ($\Delta 51 \rightarrow \Delta 37$) はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

〈建設業〉品川区の業況の動き（実績）と来期の予測

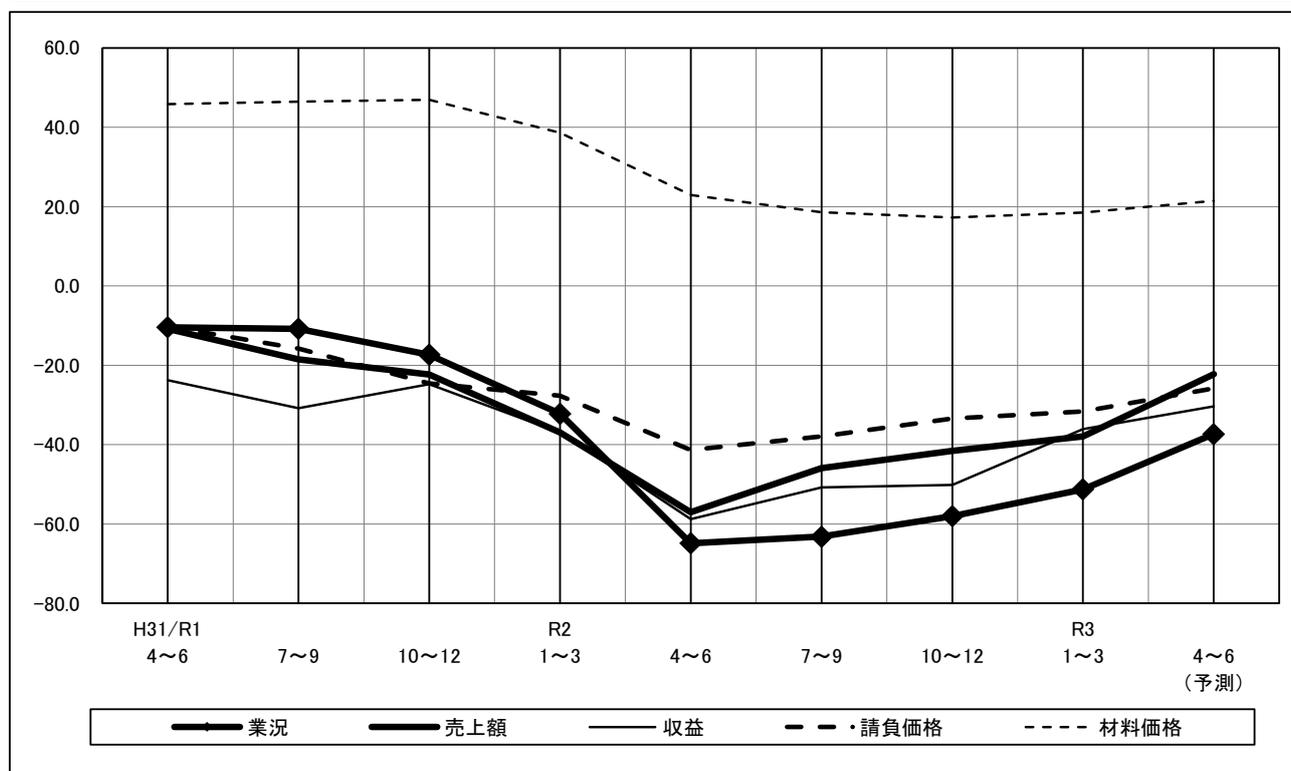


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

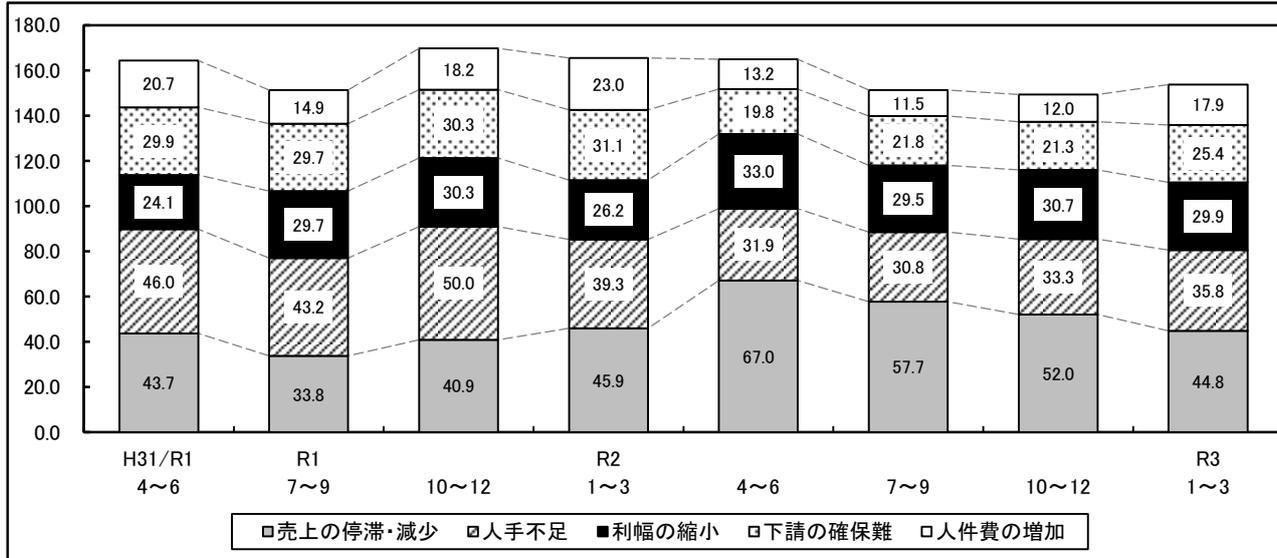
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

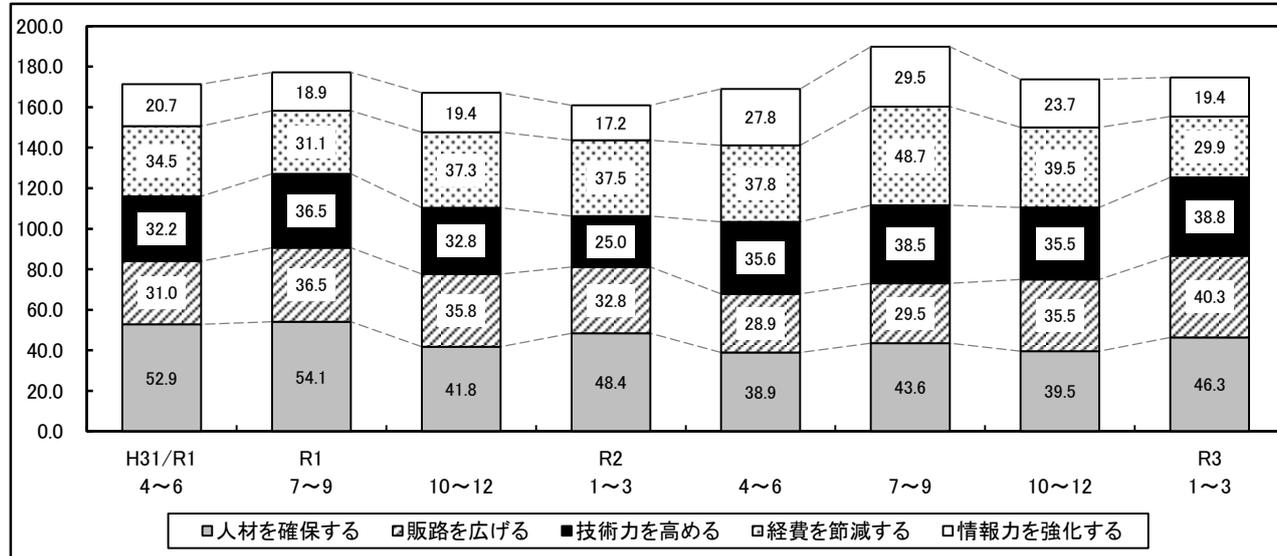


〈建設業〉 経営上の問題点 (%)



	R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期	
第1位	売上の停滞・減少	67.0 %	売上の停滞・減少	57.7 %	売上の停滞・減少	52.0 %	売上の停滞・減少	44.8 %
第2位	利幅の縮小	33.0 %	人手不足	30.8 %	人手不足	33.3 %	人手不足	35.8 %
第3位	人手不足	31.9 %	利幅の縮小	29.5 %	利幅の縮小	30.7 %	利幅の縮小	29.9 %
第4位	下請の確保難	19.8 %	下請の確保難	21.8 %	下請の確保難	21.3 %	下請の確保難	25.4 %
第5位	同業者間の競争の激化	17.6 %	同業者間の競争の激化	17.9 %	技術力の不足	18.7 %	人件費の増加	17.9 %

〈建設業〉 重点経営施策 (%)



	R2.4~6月期		R2.7~9月期		R2.10~12月期		R3.1~3月期	
第1位	人材を確保する	38.9 %	経費を節減する	48.7 %	経費を節減する	39.5 %	人材を確保する	46.3 %
第2位	経費を節減する	37.8 %	人材を確保する	43.6 %	技術力を高める 販路を広げる	35.5 % 35.5 %	販路を広げる	40.3 %
第3位	技術力を高める	35.6 %	技術力を高める	38.5 %	情報力を強化する	23.7 %	技術力を高める	38.8 %
第4位	販路を広げる	28.9 %	販路を広げる 情報力を強化する	29.5 % 29.5 %	労働条件を改善する 新しい事業を始める	11.8 % 11.8 %	経費を節減する	29.9 %
第5位	情報力を強化する	27.8 %	労働条件を改善する	12.8 %	教育訓練を強化する 特になし	10.5 % 10.5 %	情報力を強化する	19.4 %

建設業 業種別コメント

1. 今のところは良いが、先行きが不安。
2. 全体的に案件が減っている。養老ホーム関係の工事がコロナ禍で止まっている。
3. 大口の仕事の減少はあるが、一般ユーザーからのオーダーは結構多いので助かっている。HP等でのユーザーが多くなった。
4. 現在引合いについては増加傾向にあります。要因として新型コロナウイルス感染症は収束していないが、落ち着いていること。また同業他社による訪問営業の増加によって引合い増になっていると推測しています。
5. 売上が減少しており、非常に苦しい状況にあります。
6. ここ数年は売上が減少していたが、来期以降は増収の見込み。
7. 若い人材が不足している。
8. 新型コロナウイルス感染症による作業時間等管理の厳格化。
9. 人手不足。
10. 新型コロナウイルス感染症の中でも何とかやってきた。職人、下請が高齢化してきた。
11. 客の資金不足により、減収が続く。
12. コロナ禍において人の移動が少なくなり仕事量が減少した。
13. ほとんど横ばいだが、今後の状況が読めない。
14. 新型コロナウイルス感染症問題で、仕事が煩雑になり、余分な工数がかかり経費増となっている。これに関連し売上、収益共に減少。
15. コロナ禍で工事開始に遅れが出ている。
16. 受注増の中、人手不足。
17. 新型コロナウイルス感染症で先の見通しが見えない。
18. とにかく仕事量が少ない。
19. 今まで小企業にまかせていた工事も、大企業は根こそぎ受注し、小企業に回って来なくなりました。“なりふりかまわず”といった印象を受けます。小企業なりのやり方、小回りをきかせるやり方を目指しています。
20. 人手不足のため、技術力が高められない。
21. 下請の経営者がかわり、業務量が減少している。新人と経営者の考えが相当違ってきている。テレビ、スマートフォン等に（インターネット、テレワーク）影響されすぎている。
22. 民間企業の設備投資がどの程度かわからない。
23. 新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くか不安。
24. 年度末に受注が集中する。但し、そのボリュームが12月ごろにならないと分らない。人手、資金繰りの関係で年に平均して受注対象が発生してくれればと感じる。
25. 受注増で人手不足。
26. 従業員の高齢化によってIT化ができず、またパソコン等が使えないなどの場合、使える従業員に仕事がふられ、一部の従業員だけが仕事が増える傾向が強く、不公平な労働環境になっている。
27. 休日の作業、及び平日の業務の人手不足になっている。下請業者の高齢化と社員不足。
28. 人手不足により人件費は下がらないが、上位企業は先を見据え単価を下げているので、受注が難しくなっている。
29. 繁忙期と閑散期の差が激しく人材の確保が難しい。
30. 当方は飲食関係の設備が主体ですが、新型コロナウイルス感染症のため、ユーザーが店を閉めたり店舗展開が止まってしまっている状態。仕事がなくなっている。
31. 有能な人材が足りません。
32. 現況では平年と変わりはないが、弊社のような零細企業には、半年、1年後に影響が出てくるので、今後は新型コロナウイルス感染症により売上、収益等減少し、厳しくなると思われる。

日銀短観

[調査対象企業数]

(2021年3月調査)

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,917社	5,561社	9,478社	99.0%
うち大企業	988社	895社	1,883社	98.6%
中堅企業	1,021社	1,642社	2,663社	99.1%
中小企業	1,908社	3,024社	4,932社	99.1%

		2020年度 (計画)		2021年度 (計画)	
		修正率		修正率	
大企業	製造業	-8.3	0.9	2.6	—
	国内	-7.6	0.7	2.2	—
	輸出	-9.8	1.2	3.3	—
	非製造業	-8.7	-0.2	1.7	—
中堅企業	全産業	-8.5	0.2	2.1	—
	製造業	-6.9	0.6	4.2	—
	非製造業	-7.8	0.3	2.9	—
中小企業	全産業	-7.6	0.4	3.2	—
	製造業	-8.7	0.8	3.3	—
	非製造業	-7.9	0.6	2.0	—
全規模合計	全産業	-8.1	0.7	2.3	—
	製造業	-8.1	0.8	3.0	—
	非製造業	-8.2	0.2	2.1	—
	全産業	-8.2	0.4	2.4	—

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2020年度		2021年度	
		上期	下期	上期	下期
円/ドル	2020年12月調査	106.79	107.03	106.55	—
	2021年3月調査	106.66	107.00	106.32	106.07
円/ユーロ	2020年12月調査	121.04	120.99	121.10	—
	2021年3月調査	121.76	121.06	122.47	123.10

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

[業況判断]

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

	2020年12月調査		2021年3月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	-10	-8	5	15	4	-1
非製造業	-5	-6	-1	4	-1	0
全産業	-8	-7	2	10	2	0
中堅企業						
製造業	-17	-17	-2	15	-6	-4
非製造業	-14	-17	-11	3	-12	-1
全産業	-15	-18	-8	7	-9	-1
中小企業						
製造業	-27	-26	-13	14	-12	1
非製造業	-12	-20	-11	1	-16	-5
全産業	-18	-23	-12	6	-15	-3
全規模合計						
製造業	-20	-19	-6	14	-7	-1
非製造業	-11	-16	-9	2	-12	-3
全産業	-15	-18	-8	7	-10	-2

		2020年12月調査		2021年3月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-35	-34	-26	9	-27	-1
	うち素材業種	-38	-37	-28	10	-29	-1
	加工業種	-32	-31	-24	8	-25	-1
	非製造業	-25	-27	-25	0	-26	-1
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-31	-28	-18	13	-18	0
	うち素材業種	-36	-33	-22	14	-24	-2
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	20	—	13	-7	—	—
	うち素材業種	22	—	13	-9	—	—
	加工業種	18	—	13	-5	—	—
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	24	—	16	-8	—	—
	うち素材業種	28	—	18	-10	—	—
	加工業種	21	—	14	-7	—	—
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	-5	-5	0	5	2	2
	うち素材業種	-1	1	6	7	10	4
	加工業種	-8	-10	-5	3	-4	1
	非製造業	-6	-6	-5	1	-4	1
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	16	22	29	13	36	7
	うち素材業種	18	23	35	17	39	4
	加工業種	14	20	24	10	33	9
	非製造業	11	15	18	7	21	3

東京都と品川区の企業倒産動向 (令和3年3月)

1. 東京都の倒産概況

(単位: 件・億円)

	令和2年3月	令和3年2月	令和3年3月	前月比	前年同月比
件数	146	104	123	19	▲23
金額	307	180	731	551	424

2. 原因別倒産動向

(単位: 件・億円)

	放漫経営	過小資本	他社倒産の余波	既往のしわ寄せ	販売不振
8	623.8	2	0.2	7	3.2
12	15.9	89	87.4		
	売掛金回収難	信用性低下	在庫状態悪化	設備投資過大	その他
1	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0.0	0	0.0	0	0.0
1.1					

3. 業種別倒産動向

(単位: 件・億円)

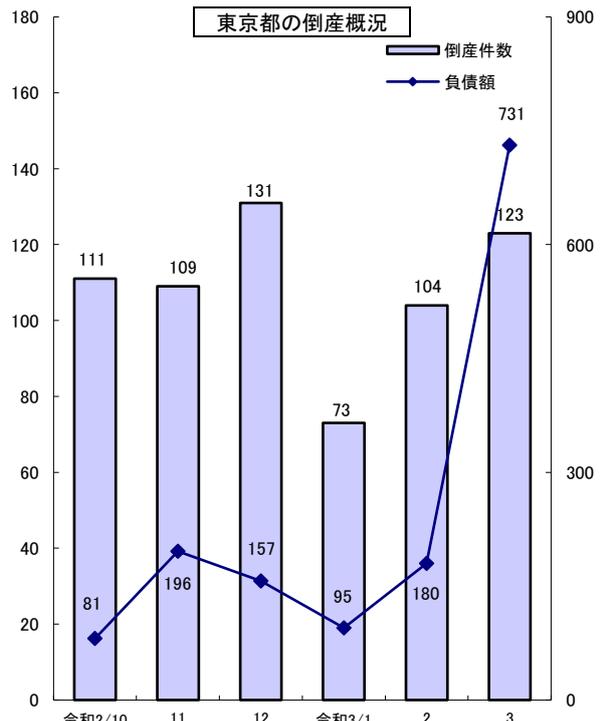
	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	10	5	11	12	23	6
卸売業	25	31	15	41	19	17
小売業	16	13	14	10	17	474
サービス業	28	15	32	153	14	173
建設業	16	9	13	35	8	8
不動産業	7	9	6	8	11	3
情報通信業・運輸業	24	13	12	39	62	10
宿泊業・飲食サービス業	16	6	15	9	27	38
その他	4	3	5	1	1	3
合計	146	104	123	307	180	731

4. 品川区内の令和3年3月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	0件	0百万円
卸売業	0件	0百万円
小売業	0件	0百万円
サービス業	0件	0百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	2件	40百万円
情報通信業・運輸業	1件	20百万円
宿泊業・飲食サービス業	1件	10百万円
その他	0件	0百万円
合計	4件	70百万円

(件数)

(億円)



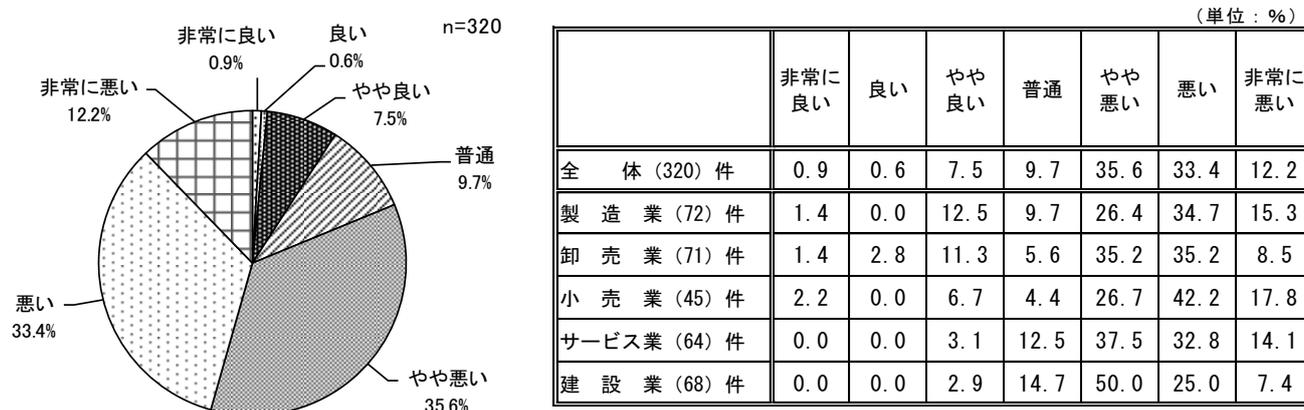
特別調査「令和3年度の経営見通し」

- ① 令和3年度の日本の景気については『良い』が9.0%、『悪い』が81.2%
- ② 令和3年度の自社の業況（景気）は『良い』が11.9%、『悪い』が70.6%
- ③ 令和3年度の自社の売上額の伸び率は『増加』が19.9%、『減少』が62.6%
- ④ 自社の業況が上向く転換点については、「1年後」が33.2%で最多
- ⑤ 経営に影響を及ぼす事象は、「新型コロナウイルス感染症の影響」が71.6%で最多

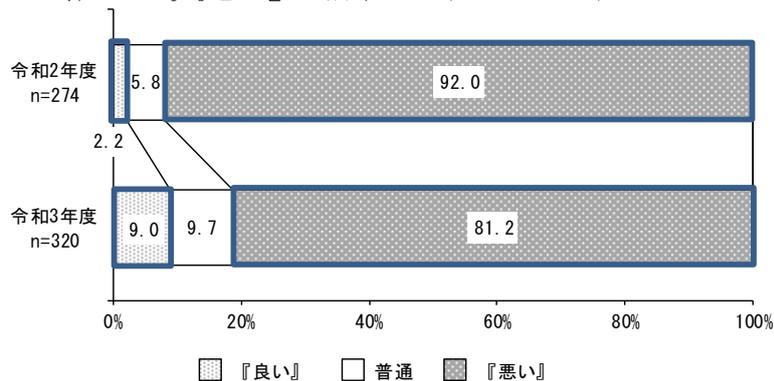
問1. 令和3年度の日本の景気見通し

日本の景気見通しについては、全体では「やや悪い」が35.6%で最も多く、次いで「悪い」が33.4%、「非常に悪い」が12.2%となった。「非常に良い」、「良い」、「やや良い」を合わせた『良い』の割合は9.0%、反対に「非常に悪い」、「悪い」、「やや悪い」を合わせた『悪い』の割合は81.2%となり、『悪い』が『良い』を72.2ポイント上回った。

いずれの業種においても、景気の見通しについて、『悪い』に回答が集中していることを示す結果となった。『良い』と回答した企業の割合が最も多いのは卸売業であったが、15.5%にとどまり、小売業、サービス業、建設業ではいずれも1割未満となった。なお、『悪い』と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の86.7%、最も少ないのは製造業の76.4%で、業種間の差は10.3ポイントとなっている。



日本の景気見通しの前年度同期の結果（令和2年3月）との比較では、全体の『良い』は前年2.2%から9.0%と6.8ポイント増加した。『悪い』は前年92.0%から81.2%と10.8ポイント減少した。



	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
令和2年度 (274) 件	0.0	0.0	2.2	5.8	28.5	38.0	25.5
令和3年度 (320) 件	0.9	0.6	7.5	9.7	35.6	33.4	12.2

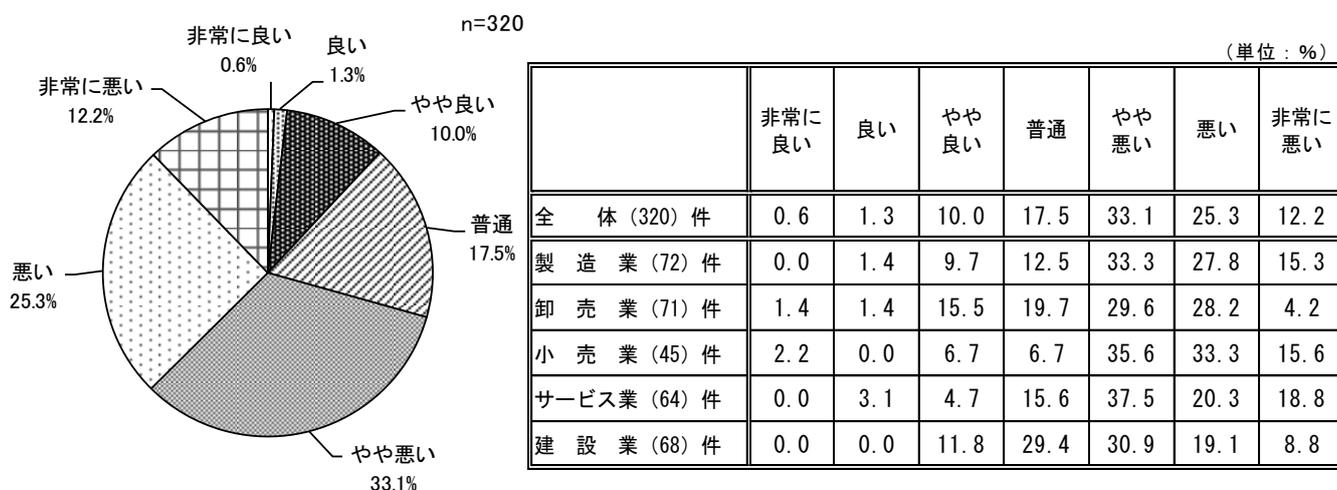
※図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入している。

そのため、合計した値が100%にならない場合がある（他設問についても同様）。

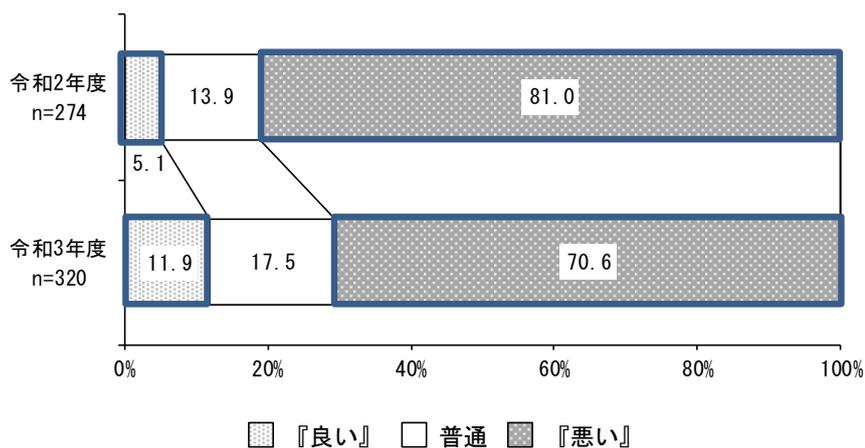
問2. 令和3年度の自社の業況見通し

自社の業況の見通しについては、全体では「やや悪い」が33.1%と最も多く、次いで「悪い」が25.3%、「普通」が17.5%となった。「非常に良い」、「良い」、「やや良い」を合わせた『良い』の割合は11.9%、反対に「非常に悪い」、「悪い」、「やや悪い」を合わせた『悪い』の割合は70.6%となり、『悪い』が『良い』を58.7ポイント上回った。

いずれの業種においても、自社の業況の見通しについて、『悪い』に回答が集中していることを示す結果となった。『良い』と回答した企業の割合が最も多いのは卸売業の18.3%、最も少ないのはサービス業の7.8%で、業種間の差は10.5ポイントとなった。また、『悪い』と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の84.5%、最も少ないのは建設業の58.8%で、業種間の差は25.7ポイントとなった。



自社の業況見通しの前年同期の結果（令和2年3月）との比較では、全体の『良い』は前年5.1%から11.9%と6.8ポイント増加し、『悪い』は前年81.0%から70.6%と10.4ポイント減少した。



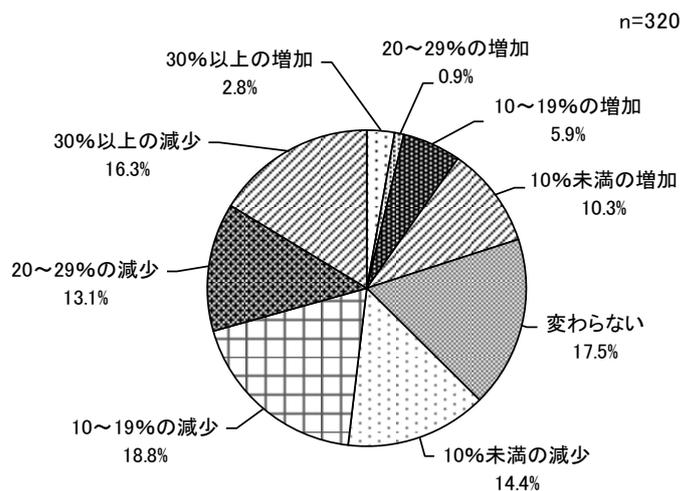
(単位：%)

	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
令和2年度 (274) 件	0.0	0.7	4.4	13.9	35.8	29.9	15.3
令和3年度 (320) 件	0.6	1.3	10.0	17.5	33.1	25.3	12.2

問3. 令和3年度の自社の売上額の伸び率の見通し

自社の売上額の伸び率の見通しについては、「10～19%の減少」が18.8%と最も多く、次いで「変わらない」が17.5%、「30%以上の減少」が16.3%と続いた。また、『増加』の回答を合計した割合は19.9%、『減少』は62.6%となり、『減少』が『増加』を42.7ポイント上回った。

業種別にみると、『増加』と回答した企業の割合が最も多いのは卸売業が31.0%、最も少ないのは小売業の15.4%で、業種間の差は15.6ポイントとなった。また、『減少』と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の73.3%、最も少ないのは卸売業の53.5%で、業種間の差は19.8ポイントとなった。



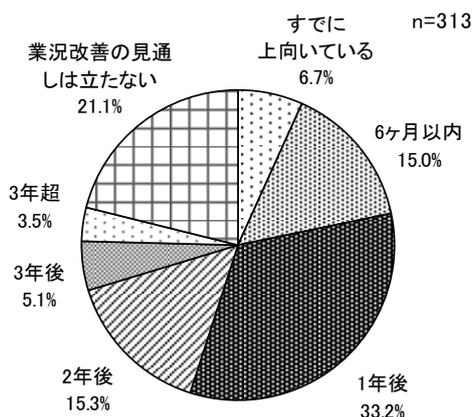
(単位：%)

	30%以上の増加	20～29%の増加	10～19%の増加	10%未満の増加	変わらない	10%未満の減少	10～19%の減少	20～29%の減少	30%以上の減少
全体 (320) 件	2.8	0.9	5.9	10.3	17.5	14.4	18.8	13.1	16.3
製造業 (72) 件	1.4	1.4	5.6	8.3	16.7	16.7	19.4	11.1	19.4
卸売業 (71) 件	4.2	1.4	12.7	12.7	15.5	2.8	29.6	14.1	7.0
小売業 (45) 件	4.4	2.2	4.4	4.4	11.1	11.1	11.1	24.4	26.7
サービス業 (64) 件	3.1	0.0	1.6	12.5	18.8	21.9	17.2	6.3	18.8
建設業 (68) 件	1.5	0.0	4.4	11.8	23.5	19.1	13.2	13.2	13.2

問4. 業況が上向く転換点

業況が上向く転換点については「1年後」が33.2%と割合が最も多く、次いで「業況改善の見通しは立たない」が21.1%、「2年後」が15.3%と続いた。

業種別にみると、「1年後」の割合が最も多い業種は建設業で47.0%となった。「業況改善の見通しは立たない」では製造業が最も高く33.3%であった。



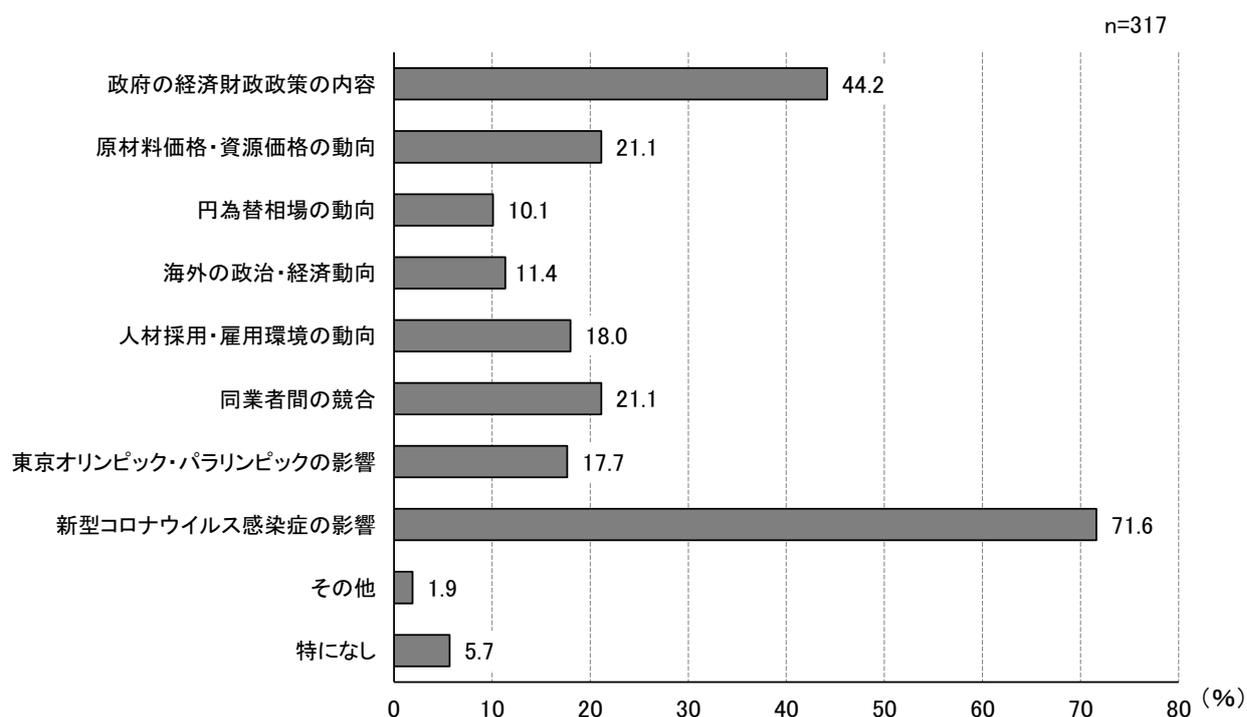
(単位：%)

	すでに上向いている	6ヶ月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しは立たない
全体 (313) 件	6.7	15.0	33.2	15.3	5.1	3.5	21.1
製造業 (72) 件	9.7	13.9	25.0	8.3	5.6	4.2	33.3
卸売業 (68) 件	8.8	19.1	32.4	17.6	5.9	4.4	11.8
小売業 (45) 件	4.4	13.3	28.9	20.0	6.7	4.4	22.2
サービス業 (62) 件	6.5	9.7	32.3	19.4	4.8	3.2	24.2
建設業 (66) 件	3.0	18.2	47.0	13.6	3.0	1.5	13.6

問5. 経営に影響を及ぼす事象

経営に影響を及ぼす事象については、「新型コロナウイルス感染症の影響」が71.6%と最も多く、他の回答割合と比べ大きく差をつけている。次いで「政府の経済財政政策の内容」が44.2%、「原材料価格・資源価格の動向」と「同業者間の競合」が21.1%となった。

業種別にみると、すべての業種において「新型コロナウイルス感染症の影響」が最も多くなっており、いずれも5割超となっている。なお、小売業については「政府の経済財政政策の内容」も60.0%と、他業種に比べ高い割合となっている。コメントにおいても、「自己努力の限界」、「飲食業への支援」、「消費マインドが見込めない。外食をしない。」といった意見がみられた。



(単位：%)

	政府の経済財政政策の内容	原材料価格・資源価格の動向	円為替相場の動向	海外の政治・経済動向	人材採用・雇用環境の動向	同業者間の競合	東京オリンピック・パラリンピックの影響	新型コロナウイルス感染症の影響	その他	特になし
全体 (317) 件	44.2	21.1	10.1	11.4	18.0	21.1	17.7	71.6	1.9	5.7
製造業 (71) 件	38.0	22.5	9.9	9.9	7.0	15.5	16.9	69.0	2.8	8.5
卸売業 (71) 件	43.7	31.0	26.8	12.7	8.5	26.8	7.0	76.1	1.4	2.8
小売業 (45) 件	60.0	17.8	2.2	17.8	17.8	13.3	15.6	80.0	4.4	2.2
サービス業 (64) 件	37.5	12.5	4.7	7.8	28.1	20.3	23.4	79.7	1.6	7.8
建設業 (66) 件	47.0	19.7	3.0	10.6	30.3	27.3	25.8	56.1	0.0	6.1

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表 令和3年1月～3月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-49	-62	-51	-46	-31	-37
売上額		-38	-39	-38	-44	-14	-46
受注残		-40	-41	-45	-35	-26	-52
収益		-48	-59	-49	-48	-25	-48
販売価格		-28	-12	-27	-39	-21	-45
原材料価格		23	24	31	0	33	24
原材料在庫		9	25	2	10	4	3
資金繰り		-29	-4	-29	-54	-27	-35
雇用	残業時間	-13	0	-5	-31	8	-46
	人手	-8	-24	0	23	-50	9
同期比	売上額	-59	0	-56	-62	-42	-55
	収益	-61	-65	-67	-69	-42	-55
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	71	71	68	85	58	73
	②工場・機械の狭小・老朽化	25	35	21	23	25	18
	③利幅の縮小	21	18	26	23	17	18
	④同業者間の競争の激化	17	24	16	31	8	0
	⑤人手不足	13	12	16	0	25	9
重点経営施策	①経費を節減する	48	41	42	58	58	46
	②販路を広げる	59	47	53	75	83	46
	③情報力を強化する	21	24	32	17	17	9
	④新製品・技術を開発する	21	29	26	25	17	0
	⑤人材を確保する	20	29	37	0	8	9
借入の難易度		11	25	21	0	-8	9

[来期の景況見通し]

業況		-52	-32	-60	-74	-44	-36
売上額		-30	5	-38	-44	-43	-26
受注残		-44	-23	-39	-55	-57	-48
収益		-53	-29	-61	-65	-52	-54
販売価格		-28	-8	-19	-39	-33	-47
原材料価格		34	24	42	8	46	49
原材料在庫		6	25	4	-3	5	-10
資金繰り		-36	-10	-36	-62	-38	-34
雇用	残業時間	-22	-6	-32	-62	-8	0
	人手	-1	-12	-11	54	-42	9

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-60	-11	-76	-71
売上額		-51	-30	-52	-61
収益		-62	-26	-68	-76
販売価格		-14	-27	-7	-19
仕入価格		4	6	11	-11
在庫		4	-12	4	16
資金繰り		-37	-32	-32	-48
雇用	残業時間	-57	-44	-75	-27
	人手	-13	-30	-21	17
同期比	売上額	-78	-50	-88	-83
	収益	-72	-30	-88	-75
	販売価格	-26	-50	-8	-42
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	86	56	91	100
	②商店街の集客力の低下	12	11	9	18
	③利幅の縮小	26	22	30	18
	④取引先の減少	12	22	0	27
	⑤人手不足	19	56	13	0
重点経営施策	①経費を節減する	55	50	43	82
	②品揃えを改善する	26	30	19	36
	③宣伝・広報を強化する	24	20	29	18
	④新しい事業を始める	21	40	19	9
	⑤商店街事業を活性化させる	12	20	5	18
借入の難易度		7	-10	19	0

[来期の景況見通し]

業況		-52	-17	-74	-45
売上額		-34	-22	-52	-16
収益		-34	-22	-51	-20
販売価格		-12	-28	-1	-16
仕入価格		-1	-8	15	-17
在庫		2	-20	2	17
資金繰り		-34	-35	-27	-45
雇用	残業時間	-41	-22	-67	0
	人手	-20	-30	-33	17

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		対 前期比	R3 4～6月期	
業況	良い	19.5	19.2	12.0	14.3	17.7	12.0	17.7	12.7	10.5	11.3	5.3	3.5	10.0	4.1	16.7	5.1				10.3
	普通	33.3	39.7	26.7	33.3	25.3	33.3	19.4	39.2	10.5	16.1	7.9	14.1	17.5	13.5	23.1	19.0				28.2
	悪い	47.1	41.1	61.3	52.4	57.0	54.7	62.9	48.1	79.1	72.6	86.8	82.4	72.5	82.4	60.3	75.9				61.5
	D-I	-27.6	-21.9	-49.3	-38.1	-39.2	-42.7	-45.2	-35.4	-68.6	-61.3	-81.6	-78.8	-62.5	-78.4	-43.6	-70.9				-51.3
	修正値	-24.1	-23.3	-43.1	-34.4	-40.5	-44.6	-48.6	-36.5	-64.9	-59.1	-78.1	-75.4	-63.0	-77.9	-48.5	-71.5	14.0			-52.2
	傾向値	-17.5		-21.1		-27.6		-36.0		-45.5		-54.6		-61.6		-64.3					
売上額	増加	20.7	16.2	16.2	18.4	27.8	18.7	17.7	11.4	11.6	6.5	10.4	5.9	30.4	19.7	24.4	15.2				15.4
	変わらず	26.4	41.9	23.0	31.0	19.0	30.7	25.8	39.2	9.3	27.4	11.7	22.4	19.0	14.5	17.9	25.3				33.3
	減少	52.9	41.9	60.8	50.6	53.2	50.7	56.5	49.4	79.1	66.1	77.9	71.8	50.6	65.8	57.7	59.5				51.3
	D-I	-32.2	-25.7	-44.6	-32.2	-25.3	-32.0	-38.7	-38.0	-67.4	-59.7	-67.5	-65.9	-20.3	-46.1	-33.3	-44.3				-35.9
	修正値	-20.7	-19.3	-38.8	-28.5	-33.3	-36.7	-42.6	-40.1	-58.5	-52.7	-63.2	-62.5	-31.4	-49.7	-38.3	-47.4	-7.0			-30.1
	傾向値	-15.0		-19.3		-25.9		-32.2		-39.6		-46.9		-49.1		-47.8					
受注残	増加	14.0	14.9	12.5	18.6	14.3	12.3	6.5	5.1	11.6	4.8	9.2	5.9	18.8	16.0	21.8	10.1				11.5
	変わらず	43.0	51.4	31.9	39.5	40.3	38.4	43.5	48.7	16.3	43.5	23.7	23.5	30.0	28.0	21.8	32.9				34.6
	減少	43.0	33.8	55.6	41.9	45.5	49.3	50.0	46.2	72.1	51.6	67.1	70.6	51.3	56.0	56.4	57.0				53.8
	D-I	-29.1	-18.9	-43.1	-23.3	-31.2	-37.0	-43.5	-41.0	-60.5	-46.8	-57.9	-64.7	-32.5	-40.0	-34.6	-46.8				-42.3
	修正値	-23.1	-20.7	-39.8	-19.3	-32.6	-37.8	-47.2	-39.9	-54.9	-46.7	-54.2	-61.1	-35.7	-40.7	-39.9	-46.1	-4.0			-43.5
	傾向値	-20.5		-24.9		-28.8		-33.1		-40.6		-46.4		-48.4		-47.5					
収益	増加	11.5	13.5	12.3	14.9	17.9	18.7	14.5	9.0	10.5	11.3	10.4	8.3	23.8	18.4	17.9	14.1				11.5
	変わらず	33.3	43.2	20.5	31.0	25.6	30.7	27.4	39.7	11.6	29.0	18.2	17.9	16.3	15.8	20.5	25.6				21.8
	減少	55.2	43.2	67.1	54.0	56.4	50.7	58.1	51.3	77.9	59.7	71.4	73.8	60.0	65.8	61.5	60.3				66.7
	D-I	-43.7	-29.7	-54.8	-39.1	-38.5	-32.0	-43.5	-42.3	-67.4	-48.4	-61.0	-65.5	-36.3	-47.4	-43.6	-46.2				-55.1
	修正値	-33.5	-24.8	-48.9	-35.9	-45.5	-36.8	-48.2	-44.4	-58.5	-43.1	-55.7	-60.4	-44.5	-50.4	-48.0	-48.2	-4.0			-52.7
	傾向値	-22.6		-26.1		-33.2		-41.4		-48.1		-51.8		-52.3		-52.1					
価格動向	販売価格	-13.8	-5.4	-12.2	-19.5	-6.3	-14.9	-13.1	-12.7	-20.9	-6.6	-20.8	-15.3	-13.8	-19.7	-28.2	-18.8				-26.9
	修正値	-11.4	-8.6	-11.9	-16.7	-10.1	-16.9	-15.2	-14.0	-16.5	-9.7	-18.4	-11.5	-16.3	-19.1	-28.3	-18.4	-12.0			-27.9
	傾向値	-10.7		-10.2		-9.5		-10.4		-12.2		-14.2		-16.2		-19.0					
	原材料価格	43.7	35.1	29.7	41.4	32.9	36.5	27.4	20.3	3.5	23.0	13.2	8.2	8.8	18.7	29.5	13.8				41.0
	修正値	43.6	37.3	32.1	39.9	36.3	38.0	27.4	26.5	5.2	23.5	14.3	7.7	10.1	17.3	22.7	17.6	13.0			34.0
	傾向値	43.9		41.2		38.9		35.9		28.4		21.3		16.2		13.5					
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	15.9	5.4	20.3	11.4	6.4	18.7	11.5	10.3	7.2	16.4	13.3	3.7	7.6	9.3	6.5	7.6				6.5
	修正値	13.6	4.1	18.3	9.3	8.3	19.8	14.0	12.1	5.8	14.7	10.7	3.0	10.1	10.8	9.3	9.3	-1.0			5.9
	資金繰り	-17.0	-16.2	-26.7	-26.1	-20.5	-33.3	-29.0	-26.9	-47.7	-40.3	-33.8	-54.1	-27.8	-37.7	-26.9	-35.4				-34.6
修正値	-17.7	-21.2	-24.5	-22.7	-18.5	-32.2	-30.9	-26.9	-45.4	-41.6	-33.0	-49.7	-26.8	-36.7	-29.4	-36.1	-3.0			-36.1	
前年同期比	売上額	-32.1		-30.1		-40.6		-57.4		-67.9		-77.9		-73.9		-59.2					
	収益	-35.7		-38.4		-46.3		-58.1		-64.7		-76.6		-73.9		-60.6					
雇用	残業時間	-26.2	-16.4	-24.3	-20.2	-24.6	-4.1	-31.1	-24.6	-44.6	-27.9	-30.3	-34.1	-29.9	-27.6	-12.5	-29.4				-22.2
	人手	-26.2	-25.8	-16.2	-18.1	-10.1	-18.9	-15.0	-10.1	8.3	-6.7	15.6	10.8	7.4	16.9	-8.3	8.8				-1.4
借入金	借入難易度	8.4		2.7		4.6		1.6		10.8		21.3		5.9		11.3					
	借入をした(%)	25.3	24.6	28.4	21.0	31.7	29.0	27.4	32.8	42.0	23.3	46.1	36.0	38.8	26.9	36.2	26.2				34.3
	借入をしな(%)	74.7	75.4	71.6	79.0	68.3	71.0	72.6	67.2	58.0	76.7	53.9	64.0	61.2	73.1	63.8	73.8				65.7
有効回答事業所数	88		75		79		62		86		77		80		78						

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		対 前期比	R3 4～6月期
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-14.5	-13.3	-9.3	-12.2	-7.5	-9.3	-8.2	-6.0	-6.1	0.0	7.9	-4.9	-1.5	5.3	-4.2	-1.5		-2.8
	実施した	36.3	32.7	29.6	40.0	29.4	28.6	20.3	25.8	22.2	20.3	30.3	15.0	19.7	25.0	22.9	26.9		31.0
	事業用地・建物	5.0	5.5	2.8	6.3	4.4	4.3	1.7	4.5	3.7	0.0	1.3	2.5	4.5	0.0	4.3	3.0		2.8
	機械・設備の新・増設	11.3	10.9	15.5	18.8	11.8	8.6	8.5	12.1	7.4	5.1	9.2	6.3	1.5	6.6	4.3	6.0		9.9
	機械・設備の更改	13.8	10.9	9.9	18.8	7.4	14.3	1.7	7.6	4.9	6.8	6.6	3.8	9.1	9.2	5.7	11.9		11.3
	事務機器	10.0	10.9	9.9	8.8	16.2	10.0	13.6	7.6	8.6	11.9	11.8	6.3	13.6	9.2	12.9	9.0		12.7
	車両	6.3	7.3	11.3	7.5	7.4	4.3	3.4	3.0	4.9	6.8	9.2	3.8	3.0	7.9	10.0	6.0		7.0
	その他	3.8	1.8	2.8	2.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.2	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3	1.4	0.0		1.4
	実施しない	63.8	67.3	70.4	60.0	70.6	71.4	79.7	74.2	77.8	79.7	69.7	85.0	80.3	75.0	77.1	73.1		69.0
	経営 上の 問題 点 (%)	売上の停滞・減少	54.8		65.3		69.2		66.1		81.2		83.1		76.1		70.8		
人手不足		28.6		27.8		16.9		16.1		10.6		6.5		11.9		12.5			
大手企業との競争の激化		1.2		2.8		1.5		0.0		0.0		2.6		3.0		0.0			
同業者間の競争の激化		9.5		15.3		18.5		11.3		9.4		6.5		16.4		16.7			
親企業による選別の強化		3.6		4.2		6.2		3.2		1.2		2.6		3.0		0.0			
輸入製品との競争の激化		2.4		1.4		1.5		1.6		2.4		2.6		0.0		1.4			
合理化の不足		11.9		8.3		6.2		6.5		5.9		10.4		7.5		6.9			
利幅の縮小		16.7		16.7		18.5		29.0		24.7		20.8		23.9		20.8			
原材料高		23.8		18.1		15.4		21.0		9.4		9.1		10.4		15.3			
販売納入先からの値下げ要請		6.0		6.9		0.0		6.5		2.4		5.2		4.5		9.7			
仕入先からの値上げ要請		11.9		6.9		4.6		8.1		5.9		3.9		3.0		4.2			
人件費の増加		10.7		9.7		21.5		9.7		11.8		3.9		9.0		9.7			
人件費以外の経費増加		6.0		6.9		12.3		8.1		5.9		9.1		7.5		8.3			
工場・機械の狭小・老朽化		20.2		19.4		15.4		17.7		17.6		18.2		28.4		25.0			
生産能力の不足		7.1		9.7		6.2		11.3		4.7		3.9		6.0		6.9			
下請の確保難		9.5		9.7		9.2		8.1		9.4		3.9		10.4		6.9			
代金回収の悪化		0.0		0.0		0.0		1.6		1.2		0.0		0.0		0.0			
地価の高騰		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
天候の不順		0.0		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0			
地場産業の衰退		3.6		1.4		1.5		3.2		5.9		2.6		3.0		2.8			
大手企業・工場の縮小・撤退	4.8		11.1		9.2		6.5		4.7		10.4		11.9		6.9				
為替レートの変動	1.2		0.0		1.5		3.2		1.2		3.9		3.0		4.2				
その他	3.6		5.6		1.5		8.1		7.1		7.8		6.0		4.2				
問題なし	6.0		2.8		3.1		1.6		0.0		3.9		1.5		0.0				
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	59.8		54.8		51.5		47.5		62.7		56.0		53.6		59.2			
	経費を削減する	43.9		47.9		38.2		37.7		56.6		48.0		55.1		47.9			
	情報力を強化する	15.9		16.4		26.5		18.0		20.5		24.0		21.7		21.1			
	新製品・技術を開発する	24.4		24.7		20.6		31.1		21.7		26.7		21.7		21.1			
	不採算部門を整理・縮小する	8.5		8.2		5.9		3.3		10.8		4.0		7.2		4.2			
	提携先を見つける	13.4		8.2		13.2		11.5		14.5		9.3		5.8		12.7			
	機械化を推進する	11.0		9.6		10.3		13.1		3.6		5.3		2.9		12.7			
	人材を確保する	31.7		37.0		33.8		21.3		13.3		18.7		18.8		19.7			
	パート化を図る	1.2		2.7		0.0		1.6		2.4		4.0		2.9		1.4			
	教育訓練を強化する	11.0		13.7		10.3		14.8		16.9		9.3		11.6		18.3			
	労働条件を改善する	2.4		2.7		4.4		9.8		3.6		2.7		1.4		2.8			
	工場・機械を増設・移転する	6.1		6.8		4.4		3.3		8.4		4.0		5.8		5.6			
	不動産の有効活用を図る	3.7		4.1		4.4		4.9		1.2		4.0		4.3		7.0			
	その他	0.0		0.0		2.9		3.3		2.4		1.3		2.9		0.0			
特になし	7.3		6.8		10.3		4.9		6.0		9.3		8.7		4.2				
有効回答事業所数	88		75		79		62		86		77		80		78				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		対 前期比	R3 4～6月期		
業況	良い	20.7	8.0	15.1	14.1	14.3	5.6	7.9	10.5	3.8	1.6	7.7	2.5	10.5	9.0	10.8	6.7				11.0	
	普通	28.7	41.3	35.6	27.1	27.3	36.6	20.6	40.8	6.3	15.9	14.1	11.4	19.7	16.7	16.2	21.3				24.7	
	悪い	50.6	50.7	49.3	58.8	58.4	57.7	71.4	48.7	89.9	82.5	78.2	86.1	69.7	74.4	73.0	72.0					64.4
	D・I	-29.9	-42.7	-34.2	-44.7	-44.2	-52.1	-63.5	-38.2	-86.1	-81.0	-70.5	-83.5	-59.2	-65.4	-62.2	-65.3					-53.4
	修正値	-27.9	-42.0	-33.1	-41.8	-44.6	-52.8	-58.9	-36.6	-84.4	-78.7	-70.3	-81.7	-62.1	-65.4	-59.5	-65.7	3.0				-50.4
	傾向値	-29.1		-29.8		-34.3		-40.6		-50.0		-61.5		-67.9		-69.7						
売上額	増加	18.4	14.5	21.9	17.4	15.6	19.4	20.6	14.5	2.5	7.9	15.4	10.1	25.0	15.2	12.2	13.2					21.9
	変らず	23.0	47.4	23.3	26.7	29.9	27.8	15.9	32.9	11.4	14.3	14.1	19.0	17.1	21.5	24.3	28.9					30.1
	減少	58.6	38.2	54.8	55.8	54.5	52.8	63.5	52.6	86.1	77.8	70.5	70.9	57.9	63.3	63.5	57.9					47.9
	D・I	-40.2	-23.7	-32.9	-38.4	-39.0	-33.3	-42.9	-38.2	-83.5	-69.8	-55.1	-60.8	-32.9	-48.1	-51.4	-44.7					-26.0
	修正値	-33.1	-22.1	-31.0	-37.5	-45.9	-38.9	-36.8	-30.1	-79.5	-67.0	-54.7	-58.6	-42.5	-51.3	-49.0	-40.5	-7.0				-24.5
	傾向値	-21.7		-26.3		-32.4		-37.8		-44.1		-52.3		-54.4		-54.7						
収益	増加	18.4	11.8	17.8	16.3	15.6	11.1	16.1	11.8	2.5	6.5	16.7	10.1	21.1	15.2	12.3	11.8					24.7
	変らず	28.7	48.7	26.0	25.6	29.9	34.7	21.0	36.8	12.7	19.4	11.5	16.5	22.4	19.0	21.9	28.9					24.7
	減少	52.9	39.5	56.2	58.1	54.5	54.2	62.9	51.3	84.8	74.2	71.8	73.4	56.6	65.8	65.8	59.2					50.7
	D・I	-34.5	-27.6	-38.4	-41.9	-39.0	-43.1	-46.8	-39.5	-82.3	-67.7	-55.1	-63.3	-35.5	-50.6	-53.4	-47.4					-26.0
	修正値	-28.1	-27.5	-38.9	-41.5	-44.2	-46.1	-40.3	-32.8	-78.1	-65.5	-56.5	-61.7	-43.5	-52.4	-49.8	-43.5	-6.0				-26.4
	傾向値	-26.7		-30.0		-36.0		-39.6		-45.6		-53.7		-55.4		-55.8						
価格動向	販売価格	-5.8	6.6	-1.4	-7.1	-11.8	-9.9	-14.3	-11.7	-30.4	-22.2	-17.9	-35.4	-17.1	-20.3	-12.3	-14.5					0.0
	〃 修正値	-3.0	2.7	-0.7	-3.8	-11.3	-6.9	-13.4	-10.7	-25.1	-22.7	-19.3	-31.2	-18.3	-18.6	-15.8	-16.4	3.0				-6.7
	〃 傾向値	-3.9		-3.4		-4.0		-6.5		-11.4		-16.5		-19.3		-19.7						
	仕入価格	32.6	44.7	36.1	30.6	10.5	22.5	4.8	14.5	3.8	3.2	16.9	-1.3	18.4	12.8	17.6	22.4					31.1
	〃 修正値	32.2	43.2	43.1	32.8	11.8	26.0	9.4	18.5	5.5	5.2	17.8	1.8	16.1	12.1	17.7	20.8	2.0				26.6
	〃 傾向値	34.6		34.3		32.5		25.3		17.4		11.4		10.0		12.6						
在庫・資金繰り	在庫数量	12.9	8.2	22.5	7.1	18.9	21.4	29.5	20.0	32.0	14.8	15.8	26.7	6.7	13.0	16.7	12.0					6.9
	〃 修正値	15.6	5.4	19.2	10.4	20.9	18.9	24.8	18.4	33.5	13.3	15.6	29.4	10.7	12.3	14.3	11.1	4.0				7.7
	資金繰り	-14.9	-6.6	-11.1	-17.6	-6.5	-11.3	-12.7	-7.9	-32.1	-25.4	-14.3	-37.2	-2.6	-19.2	-17.3	-7.9					-13.3
〃 修正値	-15.4	-8.6	-6.8	-16.3	-9.6	-11.1	-14.5	-8.5	-29.1	-25.8	-11.8	-33.7	-8.7	-19.2	-18.6	-12.1	-10.0				-13.3	
前年同期比	売上額	-23.0		-27.8		-35.8		-53.2		-75.9		-66.7		-50.0		-43.1						
	収益	-34.5		-36.1		-41.8		-58.1		-82.3		-70.5		-58.6		-47.2						
	販売価格	-3.5		-5.6		-1.5		-23.0		-36.7		-31.2		-22.9		-8.3						
雇用	残業時間	-17.4	-8.5	-6.9	-11.6	-12.1	-4.2	-22.6	-20.0	-55.1	-30.6	-31.2	-27.3	-14.3	-22.1	-34.7	-17.1					-13.9
	人手	-19.8	-22.5	-29.6	-25.6	-23.1	-27.5	-9.7	-15.4	15.4	-8.1	2.6	15.4	-2.9	0.0	1.4	-1.4					-2.8
借入金	借入難易度	-2.4		7.0		3.1		-6.3		4.0		2.6		10.1		0.0						
	借入をした(%)	34.5	24.6	34.7	28.0	32.8	25.8	35.0	28.6	40.3	31.1	46.2	42.3	46.4	29.2	40.3	22.4					18.8
	借入をしな(%)	65.5	75.4	65.3	72.0	67.2	74.2	65.0	71.4	59.7	68.9	53.8	57.7	53.6	70.8	59.7	77.6					81.2
有効回答事業所数		87		73		77		63		80		79		76		75						

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R3		対 前期比	R3 4～6月期		
	H31～R1 4～6月期		7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	対 前期比	R3 1～3月期							
設備投資動向（％）	現在の設備	-11.0	-9.1	-8.7	-14.6	-7.9	-10.3	-3.4	-3.2	-1.4	-3.4	-8.3	-7.0	2.9	-8.5	-1.5	4.3	-2.9
	実施した	37.3	30.8	33.8	36.8	29.0	33.8	24.6	37.7	28.4	20.4	36.4	31.0	38.6	30.4	29.2	31.3	28.2
	事業用地・建物	1.2	0.0	4.4	1.3	1.6	0.0	1.8	4.9	1.4	0.0	5.2	4.2	7.1	2.9	2.8	3.0	1.4
	機械・設備の新・増設	4.8	3.1	8.8	3.9	6.5	4.6	1.8	8.2	8.1	0.0	5.2	7.0	5.7	2.9	1.4	7.5	0.0
	機械・設備の更改	7.2	15.4	5.9	6.6	4.8	7.7	1.8	8.2	8.1	3.7	6.5	2.8	2.9	8.7	4.2	10.4	5.6
	事務機器	21.7	9.2	19.1	23.7	22.6	18.5	15.8	21.3	16.2	16.7	20.8	18.3	24.3	17.4	16.7	14.9	22.5
	車両	15.7	15.4	14.7	11.8	12.9	12.3	14.0	14.8	10.8	11.1	13.0	7.0	12.9	10.1	11.1	10.4	5.6
	その他	2.4	1.5	0.0	2.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4
	実施しない	62.7	69.2	66.2	63.2	71.0	66.2	75.4	62.3	71.6	79.6	63.6	69.0	61.4	69.6	70.8	68.7	71.8
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	54.9		60.0		53.8		58.3		77.6		66.7		69.1		66.2	
人手不足		18.3		24.3		15.4		8.3		6.6		14.1		11.8		19.7		
同業者間の競争の激化		26.8		21.4		21.5		18.3		21.1		17.9		19.1		21.1		
輸入製品との競争の激化		4.9		1.4		0.0		0.0		2.6		1.3		0.0		0.0		
流通経路の変化による競争の激化		3.7		10.0		9.2		10.0		9.2		3.8		7.4		2.8		
合理化の不足		2.4		1.4		4.6		6.7		6.6		7.7		11.8		4.2		
小口注文・多頻度配送の増加		12.2		10.0		9.2		6.7		6.6		12.8		14.7		9.9		
利幅の縮小		30.5		28.6		35.4		36.7		23.7		30.8		19.1		32.4		
取扱商品の陳腐化		2.4		7.1		9.2		3.3		2.6		3.8		5.9		4.2		
販売商品の不足		2.4		0.0		7.7		11.7		6.6		5.1		7.4		4.2		
販売納入先からの値下げ要請		6.1		1.4		1.5		3.3		7.9		3.8		4.4		4.2		
仕入先からの値上げ要請		9.8		11.4		9.2		1.7		5.3		6.4		10.3		12.7		
人件費の増加		12.2		10.0		13.8		6.7		10.5		9.0		7.4		9.9		
人件費以外の経費の増加		12.2		11.4		9.2		6.7		7.9		7.7		5.9		1.4		
取引先の減少		19.5		21.4		13.8		26.7		21.1		26.9		26.5		18.3		
店舗の狭小・老朽化		1.2		5.7		3.1		1.7		2.6		1.3		4.4		0.0		
代金回収の悪化		0.0		0.0		3.1		1.7		7.9		1.3		1.5		2.8		
地価の高騰		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.5		4.2		
駐車場の確保難		0.0		1.4		1.5		1.7		0.0		0.0		0.0		0.0		
天候の不順		2.4		7.1		9.2		3.3		1.3		5.1		1.5		4.2		
地場産業の衰退		3.7		4.3		4.6		3.3		1.3		2.6		0.0		5.6		
為替レートの変動		18.3		12.9		9.2		13.3		6.6		12.8		7.4		11.3		
大手企業・工場の縮小・撤退		6.1		2.9		7.7		3.3		7.9		9.0		2.9		4.2		
その他		2.4		0.0		0.0		11.7		7.9		3.8		2.9		4.2		
問題なし		1.2		1.4		3.1		1.7		1.3		2.6		4.4		4.2		
重点経営施策（％）	販路を広げる	59.3		56.9		56.9		54.0		55.3		59.0		69.1		59.2		
	経費を削減する	40.7		38.9		36.9		49.2		51.3		48.7		41.2		43.7		
	品揃えを充実する	16.3		19.4		20.0		17.5		15.8		10.3		13.2		21.1		
	情報力を強化する	29.1		31.9		23.1		27.0		38.2		35.9		27.9		22.5		
	新しい事業を始める	14.0		12.5		9.2		11.1		10.5		9.0		11.8		14.1		
	提携先を見つける	7.0		5.6		4.6		3.2		9.2		6.4		2.9		4.2		
	機械化を推進する	3.5		2.8		3.1		1.6		2.6		2.6		4.4		2.8		
	人材を確保する	30.2		23.6		24.6		19.0		15.8		19.2		23.5		19.7		
	パート化を図る	1.2		4.2		3.1		1.6		0.0		1.3		1.5		1.4		
	教育訓練を強化する	8.1		5.6		6.2		11.1		7.9		10.3		16.2		7.0		
	流通経路の見直しをする	4.7		6.9		6.2		7.9		2.6		2.6		2.9		11.3		
	取引先を支援する	2.3		2.8		1.5		3.2		0.0		5.1		2.9		1.4		
	輸入品の取扱いを増やす	2.3		4.2		1.5		6.3		1.3		2.6		1.5		2.8		
	労働条件を改善する	4.7		4.2		7.7		1.6		5.3		3.8		5.9		7.0		
	不動産の有効活用を図る	3.5		2.8		7.7		3.2		3.9		3.8		7.4		2.8		
	その他	2.3		1.4		1.5		0.0		5.3		1.3		1.5		2.8		
	特になし	9.3		11.1		10.8		6.3		6.6		9.0		7.4		9.9		
有効回答事業所数		87		73		77		63		80		79		76		75		

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		対 前期比	R3 4～6月期
項目																			
業況	良い	15.1	17.2	16.9	16.4	9.8	19.0	2.7	1.6	3.2	2.8	8.3	4.8	12.1	11.3	11.6	12.1		14.3
	普通	34.2	34.4	28.8	39.7	34.4	27.6	8.1	57.4	7.9	2.8	6.9	14.3	13.8	15.5	14.5	3.4		15.7
	悪い	50.7	48.4	54.2	43.8	55.7	53.4	89.2	41.0	88.9	94.4	84.7	81.0	74.1	73.2	73.9	84.5		70.0
	D・I	-35.6	-31.3	-37.3	-27.4	-45.9	-34.5	-86.5	-39.3	-85.7	-91.7	-76.4	-76.2	-62.1	-62.0	-62.3	-72.4		-55.7
	修正値	-33.0	-36.1	-29.8	-22.1	-49.6	-37.0	-85.3	-36.7	-84.2	-91.0	-73.7	-72.9	-66.0	-64.6	-59.7	-70.9	6.0	-52.4
	傾向値	-34.6		-33.9		-35.5		-44.7		-57.6		-68.7		-75.6		-74.6			
売上額	増加	24.7	17.2	13.8	16.4	16.4	25.4	8.1	6.6	9.5	0.0	41.7	12.7	29.3	30.6	8.6	7.1		20.0
	変らず	31.5	37.5	22.4	34.2	36.1	22.0	2.7	55.7	3.2	13.5	9.7	20.6	10.3	31.9	18.6	8.9		24.3
	減少	43.8	45.3	63.8	49.3	47.5	52.5	89.2	37.7	87.3	86.5	48.6	66.7	60.3	37.5	72.9	83.9		55.7
	D・I	-19.2	-28.1	-50.0	-32.9	-31.1	-27.1	-81.1	-31.1	-77.8	-86.5	-6.9	-54.0	-31.0	-6.9	-64.3	-76.8		-35.7
	修正値	-22.1	-34.3	-45.7	-22.8	-39.3	-34.7	-75.1	-24.3	-77.6	-86.0	-11.2	-47.1	-41.1	-22.7	-50.5	-72.7	-9.0	-33.8
	傾向値	-22.4		-25.4		-30.6		-39.4		-52.7		-54.6		-49.2		-47.1			
収益	増加	17.8	18.8	10.2	13.7	13.1	16.9	0.0	3.3	7.9	0.0	33.3	11.1	20.7	27.8	4.3	3.5		21.4
	変らず	35.6	35.9	30.5	39.7	31.1	32.2	10.8	55.7	4.8	13.5	15.3	20.6	15.5	30.6	17.1	15.8		21.4
	減少	46.6	45.3	59.3	46.6	55.7	50.8	89.2	41.0	87.3	86.5	51.4	68.3	63.8	41.7	78.6	80.7		57.1
	D・I	-28.8	-26.6	-49.2	-32.9	-42.6	-33.9	-89.2	-37.7	-79.4	-86.5	-18.1	-57.1	-43.1	-13.9	-74.3	-77.2		-35.7
	修正値	-32.7	-31.4	-46.6	-27.0	-46.2	-40.0	-85.6	-31.3	-80.1	-85.8	-24.8	-53.6	-48.4	-26.1	-62.1	-73.0	-14.0	-34.1
	傾向値	-32.9		-34.3		-38.1		-46.9		-58.8		-61.2		-57.4		-55.6			
価格動向	販売価格	-2.7	4.7	0.0	-12.3	0.0	13.6	-21.6	-8.2	-19.0	-16.2	-2.8	-17.5	-6.9	-9.7	-17.4	-20.7		-8.7
	〃 修正値	-1.7	0.5	1.0	-6.1	-3.2	12.0	-18.5	-8.4	-16.5	-17.0	-3.5	-9.1	-10.0	-12.3	-14.3	-20.6	-4.0	-12.4
	〃 傾向値	-3.2		-2.8		-2.6		-4.2		-8.1		-10.5		-11.7		-12.1			
	仕入価格	43.8	43.8	33.9	34.2	24.6	45.8	2.7	16.4	3.2	-5.4	19.4	4.8	12.1	15.3	0.0	3.4		-4.3
	〃 修正値	40.5	42.9	40.3	35.9	25.7	44.3	7.9	22.3	4.0	-1.0	23.7	9.3	10.1	12.9	3.7	4.9	-6.0	-0.8
	〃 傾向値	37.9		38.5		37.7		31.5		21.2		14.3		10.9		9.0			
在庫・資金繰り	在庫数量	6.8	12.5	13.6	2.7	13.3	13.6	10.8	8.3	14.1	5.4	4.2	6.5	10.3	2.8	4.3	10.3		4.3
	〃 修正値	8.8	11.3	12.0	4.4	13.7	12.0	10.1	7.7	16.5	3.6	4.1	9.6	10.4	2.9	3.7	9.4	-7.0	1.8
	資金繰り	-26.0	-23.4	-23.7	-25.0	-31.1	-20.3	-66.7	-29.5	-46.0	-63.9	-28.2	-48.4	-41.4	-33.8	-42.0	-50.0		-37.3
〃 修正値	-28.3	-26.0	-19.3	-24.0	-31.2	-18.5	-63.9	-29.2	-46.8	-61.7	-29.2	-47.1	-42.3	-35.8	-36.9	-49.5	5.0	-34.2	
前年同期比	売上額	-39.0		-41.7		-48.5		-75.7		-71.2		-80.4		-90.9		-78.3			
	収益	-63.4		-50.0		-72.7		-81.1		-72.9		-80.4		-88.6		-71.7			
	販売価格	-7.3		-5.6		18.2		-21.6		-18.6		-17.6		-22.7		-26.1			
雇用	残業時間	-2.5	-28.6	-16.7	-2.5	-6.3	-2.8	-43.2	-29.0	-59.6	-29.7	-31.4	-40.4	-48.8	-21.6	-56.8	-47.6		-40.9
	人手	-58.5	-40.0	-30.6	-51.2	-53.1	-36.1	-18.9	-56.3	5.2	-24.3	11.8	-1.7	0.0	11.8	-13.0	0.0		-19.6
借入金	借入難易度	-12.5		-2.9		-19.4		-19.4		14.8		10.4		12.2		7.1			
	借入をした(%)	30.0	16.7	24.2	17.9	38.7	14.7	25.7	17.2	57.9	36.1	64.0	29.5	59.1	23.8	62.2	29.7		23.7
	借入をしない(%)	70.0	83.3	75.8	82.1	61.3	85.3	74.3	82.8	42.1	63.9	36.0	70.5	40.9	76.2	37.8	70.3		76.3
有効回答事業所数		73		59		61		37		64		72		58		70			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R2		R3		対前期比	R3
	H31～R1 4～6月期		7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期	4～6月期	4～6月期			
設備投資動向（％）	現在の設備	-17.1	-25.7	-8.6	-19.5	-9.7	-11.4	-8.6	-9.7	-15.8	-5.7	-18.4	-15.8	-27.9	-16.3	-9.1	-18.6	-15.9
	実施した	38.5	30.3	31.4	32.4	46.7	23.5	37.5	33.3	31.0	25.8	23.9	20.8	31.0	20.9	28.6	15.0	31.0
	事業用地・建物	7.7	6.1	2.9	8.8	10.0	2.9	6.3	7.4	6.9	3.2	4.3	5.7	2.4	2.3	2.4	2.5	4.8
	機械・設備の新・増設	20.5	9.1	2.9	14.7	20.0	5.9	12.5	14.8	22.4	9.7	13.0	11.3	14.3	7.0	16.7	10.0	16.7
	機械・設備の更改	17.9	15.2	20.0	14.7	20.0	11.8	18.8	14.8	10.3	12.9	15.2	15.1	7.1	14.0	9.5	2.5	16.7
	事務機器	7.7	3.0	11.4	5.9	16.7	2.9	21.9	11.1	12.1	12.9	4.3	1.9	14.3	7.0	4.8	7.5	4.8
	車両	10.3	9.1	2.9	14.7	3.3	8.8	9.4	7.4	6.9	0.0	4.3	3.8	7.1	4.7	2.4	2.5	2.4
	その他	2.6	0.0	0.0	2.9	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4
	実施しない	61.5	69.7	68.6	67.6	53.3	76.5	62.5	66.7	69.0	74.2	76.1	79.2	69.0	79.1	71.4	85.0	69.0
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	52.6		54.3	69.7		77.1		85.5		88.0		88.1		86.0		
人手不足		47.4		42.9	45.5		28.6		16.4		12.0		14.3		18.6			
同業者間の競争の激化		13.2		20.0	18.2		5.7		5.5		12.0		7.1		11.6			
大型店との競争の激化		5.3		11.4	6.1		2.9		1.8		4.0		4.8		9.3			
輸入製品との競争の激化		0.0		2.9	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
利幅の縮小		10.5		14.3	15.2		8.6		21.8		32.0		23.8		25.6			
取扱商品の陳腐化		2.6		8.6	6.1		5.7		1.8		2.0		2.4		7.0			
販売商品の不足		0.0		0.0	0.0		2.9		0.0		2.0		2.4		0.0			
販売納入先からの値下げ要請		5.3		2.9	0.0		0.0		0.0		0.0		2.4		2.3			
仕入先からの値上げ要請		13.2		17.1	15.2		0.0		5.5		2.0		2.4		4.7			
人件費の増加		31.6		22.9	27.3		22.9		12.7		12.0		9.5		16.3			
人件費以外の経費の増加		18.4		8.6	9.1		14.3		10.9		6.0		9.5		7.0			
取引先の減少		15.8		11.4	15.2		11.4		9.1		10.0		16.7		11.6			
商圏人口の減少		2.6		2.9	0.0		2.9		5.5		18.0		7.1		7.0			
商店街の集客力の低下		13.2		8.6	15.2		14.3		12.7		18.0		31.0		11.6			
店舗の狭小・老朽化		7.9		11.4	3.0		2.9		0.0		4.0		2.4		4.7			
代金回収の悪化		0.0		2.9	0.0		0.0		1.8		2.0		0.0		2.3			
地価の高騰		2.6		2.9	3.0		2.9		0.0		2.0		0.0		4.7			
駐車場の確保難		0.0		0.0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.3			
天候の不順		7.9		20.0	21.2		17.1		14.5		10.0		9.5		7.0			
地場産業の衰退	0.0		0.0	0.0		0.0		1.8		0.0		4.8		0.0				
大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0	0.0		0.0		1.8		2.0		0.0		2.3				
その他	7.9		0.0	0.0		34.3		18.2		8.0		7.1		9.3				
問題なし	2.6		0.0	3.0		2.9		1.8		2.0		2.4		0.0				
重点経営施策（％）	品揃えを改善する	22.0		27.8	25.0		14.7		25.5		28.6		31.7		26.2			
	経費を削減する	48.8		50.0	46.9		70.6		54.5		67.3		73.2		54.8			
	宣伝・広報を強化する	26.8		22.2	18.8		17.6		23.6		22.4		22.0		23.8			
	新しい事業を始める	9.8		13.9	9.4		2.9		16.4		20.4		19.5		21.4			
	店舗・設備を改装する	7.3		13.9	9.4		11.8		9.1		10.2		9.8		14.3			
	仕入先を開拓・選別する	9.8		19.4	21.9		11.8		14.5		8.2		4.9		4.8			
	営業時間を延長する	0.0		2.8	0.0		2.9		1.8		2.0		2.4		14.3			
	売れ筋商品を取扱う	24.4		30.6	12.5		17.6		21.8		24.5		14.6		14.3			
	商店街事業を活性化させる	2.4		13.9	12.5		8.8		3.6		6.1		17.1		11.9			
	機械化を推進する	2.4		5.6	9.4		0.0		1.8		4.1		2.4		0.0			
	人材を確保する	41.5		36.1	34.4		20.6		7.3		12.2		9.8		11.9			
	パート化を図る	2.4		8.3	12.5		8.8		5.5		4.1		4.9		9.5			
	教育訓練を強化する	19.5		8.3	21.9		8.8		3.6		8.2		7.3		9.5			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0	3.1		0.0		0.0		0.0		0.0		2.4			
	不動産の有効活用を図る	2.4		2.8	9.4		5.9		9.1		2.0		0.0		4.8			
	その他	2.4		2.8	0.0		0.0		7.3		0.0		7.3		2.4			
	特になし	7.3		0.0	6.3		11.8		10.9		10.2		7.3		2.4			
有効回答事業所数		73		59		61		37		64		72		58		70		

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		対 前期比	R3 4～6月期		
業況	良い	20.5	15.2	22.1	19.0	15.1	13.5	2.1	12.3	6.3	2.1	7.0	8.9	4.1	4.2	8.2	2.7				4.1	
	普通	44.6	50.6	44.2	46.8	54.8	43.2	31.3	57.5	16.5	27.7	15.5	24.1	23.0	25.0	23.3	29.7				28.8	
	悪い	34.9	34.2	33.8	34.2	30.1	43.2	66.7	30.1	77.2	70.2	77.5	67.1	73.0	70.8	68.5	67.6					67.1
	D-I	-14.5	-19.0	-11.7	-15.2	-15.1	-29.7	-64.6	-17.8	-70.9	-68.1	-70.4	-58.2	-68.9	-66.7	-60.3	-64.9					-63.0
	修正値	-8.4	-20.4	-10.3	-7.9	-17.6	-32.4	-63.9	-18.5	-66.8	-65.6	-68.3	-53.4	-69.8	-66.5	-59.5	-65.8	10.0				-60.6
	傾向値	-15.7		-14.8		-14.1		-20.3		-33.5		-47.9		-62.0		-68.2						
売上額	増加	28.9	19.2	10.4	24.7	19.2	20.0	4.3	11.3	8.9	8.5	20.8	21.8	16.2	14.1	11.0	5.4					12.3
	変らず	33.7	46.2	40.3	44.4	45.2	40.0	27.7	46.5	15.2	19.1	22.2	25.6	24.3	39.4	31.5	33.8					37.0
	減少	37.3	34.6	49.4	30.9	35.6	40.0	68.1	42.3	75.9	72.3	56.9	52.6	59.5	46.5	57.5	60.8					50.7
	D-I	-8.4	-15.4	-39.0	-6.2	-16.4	-20.0	-63.8	-31.0	-67.1	-63.8	-36.1	-30.8	-43.2	-32.4	-46.6	-55.4					-38.4
	修正値	-3.4	-18.4	-37.8	-2.4	-20.1	-22.7	-60.9	-25.7	-64.4	-62.6	-34.2	-29.3	-47.6	-35.1	-41.6	-52.2	6.0				-36.6
	傾向値	-10.0		-12.6		-18.1		-26.3		-39.2		-46.2		-49.2		-50.4						
収益	増加	22.9	15.4	11.8	19.5	17.8	17.6	10.4	11.3	8.9	10.4	16.7	16.7	16.2	15.5	8.2	8.1					9.6
	変らず	37.3	48.7	42.1	48.8	47.9	41.9	25.0	54.9	13.9	16.7	22.2	26.9	24.3	36.6	32.9	36.5					38.4
	減少	39.8	35.9	46.1	31.7	34.2	40.5	64.6	33.8	77.2	72.9	61.1	56.4	59.5	47.9	58.9	55.4					52.1
	D-I	-16.9	-20.5	-34.2	-12.2	-16.4	-23.0	-54.2	-22.5	-68.4	-62.5	-44.4	-39.7	-43.2	-32.4	-50.7	-47.3					-42.5
	修正値	-11.2	-20.9	-33.8	-12.2	-18.8	-25.2	-53.0	-19.3	-64.2	-60.0	-43.2	-39.7	-47.2	-34.5	-48.5	-46.0	-1.0				-38.2
	傾向値	-15.3		-16.8		-20.3		-26.2		-36.9		-44.6		-49.2		-52.1						
価格動向	料金価格	0.0	5.2	-2.6	-1.2	-5.5	4.0	-16.7	-6.9	-22.7	-25.0	-16.9	-21.3	-17.8	-20.0	-12.3	-19.2					-4.1
	// 修正値	1.4	3.1	-2.3	0.0	-5.6	3.6	-15.8	-5.0	-20.8	-23.5	-15.3	-20.0	-18.2	-19.9	-13.2	-18.1	5.0				-5.1
	// 傾向値	-0.6		-0.3		-0.7		-3.8		-9.0		-13.6		-17.0		-18.0						
	材料価格	30.1	38.2	26.0	28.0	16.4	32.0	19.6	16.7	9.5	10.9	0.0	2.7	4.2	0.0	12.5	4.2					13.9
	// 修正値	28.1	36.9	27.8	27.2	18.1	33.5	20.7	17.8	10.6	11.9	2.9	5.1	5.5	2.0	10.3	4.2	5.0				12.3
// 傾向値	28.1		28.4		27.2		24.4		20.4		14.6		9.8		7.4							
在庫・資金繰り	資金繰り	-12.0	-15.2	-13.0	-15.9	-5.5	-20.0	-35.4	-6.9	-50.6	-41.7	-33.8	-41.8	-32.4	-38.6	-32.9	-32.4					-31.5
	// 修正値	-10.1	-14.4	-12.5	-12.6	-8.0	-21.1	-33.6	-8.5	-47.4	-39.0	-33.6	-37.7	-34.0	-38.2	-30.4	-35.3	4.0				-29.1
前年同期比	売上額	-1.5		-16.7		-28.6		-56.5		-62.5		-53.3		-50.0		-43.8						
	収益	-10.1		-20.0		-32.1		-63.8		-68.1		-56.7		-48.4		-45.3						
雇用	残業時間	-4.3	-7.3	-8.3	-11.8	-17.9	-13.3	-35.4	-16.4	-57.5	-41.7	-26.7	-38.4	-35.5	-22.0	-25.0	-33.9					-20.3
	人手	-46.4	-48.1	-52.5	-46.4	-48.2	-50.0	-37.5	-52.7	-9.7	-25.0	-16.4	-15.3	-21.3	-21.7	-25.0	-19.7					-21.9
借入金	借入難易度	-5.9		-3.4		1.9		-8.7		1.4		-9.8		-5.1		-1.6						
	借入をした(%)	19.7	16.1	22.0	20.6	20.0	7.1	26.1	9.3	40.6	20.9	32.3	23.9	37.1	16.9	34.4	12.5					20.7
	借入をしない(%)	80.3	83.9	78.0	79.4	80.0	92.9	73.9	90.7	59.4	79.1	67.7	76.1	62.9	83.1	65.6	87.5					79.3
有効回答事業所数		83		77		74		48		79		72		74		74						

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R2		R3		対前期比	R3
	H31～R1 4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			
設備投資動向（％）	現在の設備	-14.5	-10.7	-11.5	-8.7	-14.5	-11.5	-6.3	-22.2	-4.3	0.0	-5.2	-4.3	-8.2	-5.3	-10.9	-9.8	-15.6
	実施した	37.3	27.3	41.7	32.3	46.3	26.4	37.0	35.8	31.0	23.3	25.0	20.9	26.7	17.5	34.4	22.4	35.5
	事業用地・建物	3.0	3.6	5.0	1.6	1.9	3.8	0.0	1.9	2.8	2.3	3.3	6.0	3.3	1.8	4.7	5.2	6.5
	機械・設備の新・増設	13.4	7.3	10.0	11.3	22.2	5.7	15.2	13.2	11.3	7.0	13.3	6.0	3.3	7.0	7.8	3.4	3.2
	機械・設備の更改	9.0	10.9	16.7	16.1	14.8	13.2	13.0	9.4	8.5	7.0	8.3	7.5	10.0	5.3	10.9	13.8	16.1
	事務機器	16.4	10.9	16.7	9.7	14.8	3.8	8.7	11.3	9.9	7.0	8.3	6.0	8.3	5.3	9.4	5.2	8.1
	車両	14.9	10.9	21.7	14.5	18.5	5.7	19.6	15.1	9.9	9.3	10.0	10.4	13.3	10.5	15.6	5.2	16.1
	その他	1.5	0.0	3.3	1.6	1.9	0.0	2.2	1.9	1.4	2.3	0.0	0.0	1.7	0.0	1.6	1.7	3.2
	実施しない	62.7	72.7	58.3	67.7	53.7	73.6	63.0	64.2	69.0	76.7	75.0	79.1	73.3	82.5	65.6	77.6	64.5
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	37.5		43.3		40.7		60.4		65.7		67.2		62.3		58.7	
人手不足		46.9		50.0		51.9		47.9		22.9		31.1		34.4		34.9		
同業者間の競争の激化		17.2		16.7		22.2		10.4		15.7		14.8		16.4		12.7		
大手企業との競争の激化		3.1		5.0		1.9		4.2		2.9		1.6		1.6		3.2		
合理化の不足		6.3		3.3		5.6		2.1		8.6		4.9		8.2		7.9		
利幅の縮小		20.3		16.7		14.8		22.9		20.0		19.7		18.0		22.2		
取扱事務の陳腐化		0.0		1.7		0.0		0.0		1.4		1.6		0.0		0.0		
材料価格の上昇		15.6		15.0		7.4		8.3		1.4		1.6		4.9		7.9		
料金の値下げ要請		3.1		3.3		5.6		6.3		2.9		3.3		4.9		3.2		
人件費の増加		25.0		25.0		35.2		27.1		20.0		19.7		19.7		25.4		
人件費以外の経費の増加		6.3		15.0		7.4		10.4		7.1		3.3		8.2		9.5		
技術力の不足		12.5		10.0		11.1		10.4		10.0		4.9		11.5		7.9		
取引先の減少		10.9		5.0		5.6		10.4		7.1		13.1		13.1		17.5		
商圏人口の減少		1.6		3.3		1.9		0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		
地価の高騰		3.1		0.0		1.9		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		
駐車場の確保難		1.6		5.0		3.7		2.1		2.9		1.6		3.3		4.8		
店舗・設備の狭小・老朽化		1.6		6.7		3.7		4.2		7.1		3.3		1.6		4.8		
代金回収の悪化		1.6		1.7		1.9		2.1		0.0		1.6		1.6		1.6		
天候の不順		3.1		8.3		9.3		4.2		8.6		0.0		3.3		1.6		
地場産業の衰退		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		
大手企業・工場の縮小・撤退	1.6		5.0		0.0		0.0		0.0		3.3		4.9		1.6			
その他	3.1		3.3		1.9		8.3		11.4		6.6		4.9		6.3			
問題なし	6.3		3.3		7.4		4.2		1.4		1.6		3.3		3.2			
重点経営施策（％）	販路を広げる	41.8		36.1		39.3		42.6		37.0		44.1		36.2		44.4		
	経費を節減する	40.3		42.6		48.2		44.7		49.3		55.9		48.3		41.3		
	宣伝・広告を強化する	17.9		13.1		12.5		14.9		12.3		8.5		8.6		9.5		
	新しい事業を始める	11.9		9.8		14.3		14.9		12.3		20.3		15.5		15.9		
	店舗・設備を改装する	1.5		4.9		0.0		2.1		4.1		1.7		3.4		6.3		
	提携先を見つける	4.5		9.8		3.6		6.4		6.8		5.1		12.1		6.3		
	技術力を強化する	26.9		18.0		21.4		21.3		17.8		15.3		17.2		20.6		
	機械化を促進する	1.5		1.6		1.8		0.0		4.1		1.7		1.7		4.8		
	人材を確保する	46.3		45.9		55.4		48.9		35.6		32.2		32.8		39.7		
	パート化を図る	3.0		3.3		1.8		4.3		2.7		0.0		1.7		3.2		
	教育訓練を強化する	11.9		11.5		16.1		14.9		13.7		13.6		15.5		14.3		
	労働条件を改善する	7.5		14.8		14.3		6.4		9.6		13.6		8.6		9.5		
	不動産の有効活用を図る	1.5		3.3		1.8		0.0		4.1		3.4		3.4		3.2		
	その他	0.0		3.3		1.8		2.1		9.6		1.7		5.2		1.6		
特になし	4.5		8.2		5.4		6.4		2.7		3.4		3.4		3.2			
有効回答事業所数	83		77		74		48		79		72		74		74			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		H31～R1 4～6月期		R1 7～9月期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		対 前期比	R3 4～6月期			
業況	良い	17.8	17.4	20.8	14.9	21.1	21.3	18.5	14.5	2.2	6.3	2.5	3.2	3.9	12.7	9.3	6.5				8.1		
	普通	37.8	43.5	41.6	40.2	49.3	33.3	36.9	49.3	22.6	29.7	26.6	17.2	37.7	27.8	36.0	39.0				39.2		
	悪い	44.4	39.1	37.7	44.8	29.6	45.3	44.6	36.2	75.3	64.1	70.9	79.6	58.4	59.5	54.7	54.5					52.7	
	D・I	-26.7	-21.7	-16.9	-29.9	-8.5	-24.0	-26.2	-21.7	-73.1	-57.8	-68.4	-76.3	-54.5	-46.8	-45.3	-48.1					-44.6	
	修正値	-10.4	-7.2	-10.8	-27.7	-17.3	-28.0	-32.2	-28.8	-64.9	-48.3	-63.2	-73.5	-58.0	-49.0	-51.2	-52.0	7.0				-37.3	
	傾向値	-21.7		-20.7		-18.2		-18.1		-25.3		-37.6		-49.8		-57.9							
売上額	増加	18.9	8.6	20.8	20.2	23.9	28.9	21.5	25.7	7.5	9.4	13.9	14.0	15.6	29.1	17.1	16.9				14.9		
	変らず	28.9	37.1	39.0	37.1	39.4	32.9	26.2	40.0	15.1	21.9	22.8	17.2	35.1	16.5	35.5	32.5					27.0	
	減少	52.2	54.3	40.3	42.7	36.6	38.2	52.3	34.3	77.4	68.8	63.3	68.8	49.4	54.4	47.4	50.6					58.1	
	D・I	-33.3	-45.7	-19.5	-22.5	-12.7	-9.2	-30.8	-8.6	-69.9	-59.4	-49.4	-54.8	-33.8	-25.3	-30.3	-33.8					-43.2	
	修正値	-10.8	-26.0	-18.5	-27.9	-22.3	-21.0	-36.9	-12.4	-57.0	-42.4	-45.9	-54.9	-41.5	-35.7	-37.9	-36.8	4.0				-22.2	
	傾向値	-19.1		-17.4		-16.6		-20.4		-28.6		-36.9		-43.3		-45.9							
受注残	増加	13.3	11.4	11.7	20.2	25.4	25.3	14.1	17.4	4.3	6.3	6.3	14.3	7.8	26.6	14.5	14.3					13.5	
	変らず	45.6	44.3	50.6	41.6	32.4	36.0	43.8	37.7	22.8	33.3	35.4	23.1	53.2	24.1	38.2	41.6					35.1	
	減少	41.1	44.3	37.7	38.2	42.3	38.7	42.2	44.9	72.8	60.3	58.2	62.6	39.0	49.4	47.4	44.2					51.4	
	D・I	-27.8	-32.9	-26.0	-18.0	-16.9	-13.3	-28.1	-27.5	-68.5	-54.0	-51.9	-48.4	-31.2	-22.8	-32.9	-29.9					-37.8	
	修正値	-17.2	-13.2	-26.1	-22.9	-27.2	-21.1	-25.9	-30.5	-60.3	-39.3	-48.8	-49.2	-40.4	-30.4	-34.3	-32.1	6.0				-23.0	
	傾向値	-24.2		-23.8		-23.6		-24.2		-29.8		-38.1		-43.1		-45.5							
施工高	増加	16.7	8.6	22.1	24.7	25.7	28.9	26.6	24.6	5.4	9.5	11.8	14.3	14.3	28.9	20.3	14.5					13.5	
	変らず	32.2	41.4	29.9	33.7	35.7	27.6	26.6	31.9	14.1	25.4	25.0	17.6	40.3	18.4	37.8	32.9					25.7	
	減少	51.1	50.0	48.1	41.6	38.6	43.4	46.9	43.5	80.4	65.1	63.2	68.1	45.5	52.6	41.9	52.6					60.8	
	D・I	-34.4	-41.4	-26.0	-16.9	-12.9	-14.5	-20.3	-18.8	-75.0	-55.6	-51.3	-53.8	-31.2	-23.7	-21.6	-38.2					-47.3	
	修正値	-7.3	-18.8	-25.7	-21.1	-23.2	-24.3	-28.2	-24.2	-63.0	-37.7	-47.3	-53.5	-40.6	-33.0	-32.3	-41.2	8.0				-29.6	
	傾向値	-17.5		-17.6		-18.1		-21.0		-28.5		-36.7		-42.2		-44.6							
収益	増加	12.2	8.6	16.9	14.6	19.7	22.4	18.5	14.3	6.5	6.3	7.6	14.0	9.1	20.3	18.4	10.4					12.0	
	変らず	34.4	45.7	35.1	37.1	46.5	38.2	29.2	45.7	17.2	26.6	30.4	14.0	40.3	27.8	32.9	36.4					29.3	
	減少	53.3	45.7	48.1	48.3	33.8	39.5	52.3	40.0	76.3	67.2	62.0	72.0	50.6	51.9	48.7	53.2					58.7	
	D・I	-41.1	-37.1	-31.2	-33.7	-14.1	-17.1	-33.8	-25.7	-69.9	-60.9	-54.4	-58.1	-41.6	-31.6	-30.3	-42.9					-46.7	
	修正値	-23.7	-14.7	-30.8	-35.8	-24.8	-26.3	-36.9	-30.8	-58.8	-46.1	-50.8	-56.9	-50.1	-40.2	-36.1	-46.0	14.0				-30.3	
	傾向値	-29.0		-28.4		-27.3		-28.7		-33.7		-40.2		-46.5		-49.5							
価格動向	請負価格	-18.9	-22.9	-18.2	-16.9	-21.1	-18.4	-24.6	-20.0	-49.5	-39.1	-41.8	-44.1	-28.6	-27.8	-27.6	-27.3					-32.0	
	修正値	-10.2	-15.7	-15.8	-15.1	-24.6	-20.9	-27.6	-24.2	-41.3	-32.6	-37.9	-41.0	-33.4	-29.7	-31.6	-30.9	2.0				-25.8	
	傾向値	-14.4		-13.7		-15.0		-18.9		-24.5		-31.3		-35.2		-36.5							
	材料価格	44.8	41.8	48.6	41.9	45.6	52.8	37.7	38.8	19.1	35.0	18.7	21.6	16.0	16.0	20.3	16.0					23.3	
	修正値	45.8	43.4	46.5	44.3	46.9	51.0	38.6	38.6	23.0	35.9	18.6	26.2	17.2	16.2	18.5	16.3	1.0				21.5	
	傾向値	38.4		41.2		43.5		44.5		41.0		34.0		26.6		20.7							
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	-3.5	3.1	-1.4	-6.0	1.5	-5.6	-4.9	-1.5	1.1	-8.3	9.5	-2.3	5.4	6.8	-2.7	5.4					-5.6	
	修正値	-1.9	1.4	-2.0	-3.0	1.3	-4.9	-3.1	-1.9	2.9	-8.3	7.1	0.4	3.7	5.2	0.0	3.9	-4.0				-4.8	
	資金繰り	-10.1	-27.5	-6.5	-20.5	-16.9	-12.0	-27.7	-21.4	-37.6	-35.9	-25.6	-41.3	-25.0	-30.8	-21.1	-23.7					-22.7	
修正値	-10.9	-26.3	-7.4	-21.4	-15.3	-14.8	-26.1	-20.0	-35.3	-31.5	-27.6	-39.9	-24.3	-34.3	-20.9	-24.0	3.0				-18.4		
前年同期比	売上額	-20.5		-14.3		-21.7		-18.5		-69.9		-71.8		-52.6		-40.9							
	収益	-30.3		-27.6		-26.1		-27.7		-69.9		-70.5		-55.3		-38.8							
雇用	残業時間	-27.3	-23.1	-22.1	-10.2	-24.6	-13.2	-23.8	-17.6	-59.3	-39.7	-32.5	-47.8	-27.3	-23.4	-20.6	-22.1					-29.9	
	人手	-41.6	-43.1	-52.6	-48.3	-53.6	-50.0	-50.8	-48.5	2.2	-31.7	-12.8	-5.5	-27.3	-30.8	-30.9	-31.2					-20.6	
借入金	借入難易度	-1.2		6.6		-2.9		-13.3		2.3		2.9		4.1		-6.0							
	借入をした(%)	29.9	31.7	26.0	15.7	32.8	18.9	31.1	25.4	33.7	20.3	37.7	35.3	30.7	18.3	34.3	13.3					25.0	
	借入をしな(%)	70.1	68.3	74.0	84.3	67.2	81.1	68.9	74.6	66.3	79.7	62.3	64.7	69.3	81.7	65.7	86.7					75.0	
有効回答事業所数			90		77		71		65		93		79		77		76						

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期		R1		R1		R2		R2		R2		R3		対前期比	R3 4～6月期			
	H31～R1 4～6月期		7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	10～12月期	1～3月期	1～3月期	4～6月期						
設備投資動向（％）	現在の設備	-10.3	-9.5	-17.1	-12.8	-1.5	-16.0	-6.3	-1.6	-6.7	-1.6	-3.9	-9.0	-6.8	-1.3	-10.4	-6.8		-7.5
	実施した	35.8	32.8	31.5	32.5	28.1	31.5	35.2	28.1	32.9	32.1	31.1	22.9	35.1	26.0	36.4	36.1		24.2
	事業用地・建物	2.5	4.9	1.4	2.4	4.7	6.8	1.9	6.3	3.5	1.9	4.1	3.6	4.1	4.1	3.0	2.8		1.5
	機械・設備の新・増設	6.2	3.3	8.2	2.4	4.7	8.2	5.6	4.7	10.6	3.8	8.1	7.2	6.8	8.2	9.1	6.9		6.1
	機械・設備の更改	6.2	4.9	5.5	6.0	7.8	4.1	9.3	4.7	3.5	3.8	6.8	4.8	6.8	5.5	6.1	9.7		4.5
	事務機器	13.6	13.1	12.3	14.5	17.2	8.2	24.1	17.2	18.8	18.9	13.5	10.8	24.3	15.1	24.2	23.6		12.1
	車両	19.8	19.7	27.4	19.3	12.5	23.3	18.5	12.5	16.5	15.1	20.3	8.4	18.9	12.3	15.2	18.1		15.2
	その他	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	3.0	1.4		0.0
	実施しない	64.2	67.2	68.5	67.5	71.9	68.5	64.8	71.9	67.1	67.9	68.9	77.1	64.9	74.0	63.6	63.9		75.8
	経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	43.7		33.8		40.9		45.9		67.0		57.7		52.0		44.8		
人手不足		46.0		43.2		50.0		39.3		31.9		30.8		33.3		35.8			
大手企業との競争の激化		1.1		6.8		4.5		6.6		3.3		3.8		5.3		3.0			
同業者間の競争の激化		16.1		17.6		13.6		9.8		17.6		17.9		10.7		16.4			
親企業による選別の強化		4.6		4.1		3.0		0.0		0.0		5.1		2.7		1.5			
合理化の不足		3.4		2.7		3.0		3.3		4.4		2.6		2.7		6.0			
利幅の縮小		24.1		29.7		30.3		26.2		33.0		29.5		30.7		29.9			
材料価格の上昇		17.2		14.9		15.2		13.1		7.7		10.3		9.3		10.4			
下請の確保難		29.9		29.7		30.3		31.1		19.8		21.8		21.3		25.4			
駐車場・資材置場の確保難		4.6		5.4		4.5		1.6		5.5		5.1		8.0		6.0			
人件費の増加		20.7		14.9		18.2		23.0		13.2		11.5		12.0		17.9			
人件費以外の経費の増加		5.7		9.5		9.1		13.1		9.9		6.4		12.0		9.0			
技術力の不足		10.3		12.2		9.1		4.9		8.8		12.8		18.7		13.4			
代金回収の悪化		2.3		1.4		0.0		0.0		1.1		0.0		1.3		0.0			
天候の不順		3.4		4.1		6.1		0.0		2.2		7.7		1.3		0.0			
地場産業の衰退		4.6		2.7		0.0		3.3		0.0		1.3		0.0		0.0			
大手企業・工場の縮小・撤退		0.0		2.7		1.5		1.6		1.1		2.6		0.0		1.5			
その他	1.1		0.0		3.0		9.8		3.3		5.1		0.0		6.0				
問題なし	3.4		6.8		3.0		6.6		6.6		6.4		8.0		4.5				
重点経営施策（％）	販路を広げる	31.0		36.5		35.8		32.8		28.9		29.5		35.5		40.3			
	経費を節減する	34.5		31.1		37.3		37.5		37.8		48.7		39.5		29.9			
	情報力を強化する	20.7		18.9		19.4		17.2		27.8		29.5		23.7		19.4			
	新しい工法を導入する	6.9		4.1		9.0		4.7		4.4		6.4		5.3		6.0			
	新しい事業を始める	4.6		5.4		4.5		1.6		11.1		3.8		11.8		6.0			
	技術力を高める	32.2		36.5		32.8		25.0		35.6		38.5		35.5		38.8			
	人材を確保する	52.9		54.1		41.8		48.4		38.9		43.6		39.5		46.3			
	パート化を図る	2.3		4.1		0.0		1.6		0.0		1.3		1.3		0.0			
	教育訓練を強化する	10.3		13.5		17.9		14.1		15.6		11.5		10.5		16.4			
	労働条件を改善する	16.1		17.6		13.4		17.2		13.3		12.8		11.8		13.4			
	不動産の有効活用を図る	1.1		4.1		3.0		1.6		2.2		2.6		2.6		4.5			
	その他	0.0		0.0		0.0		3.1		0.0		0.0		1.3		1.5			
特になし	8.0		9.5		6.0		15.6		8.9		10.3		10.5		6.0				
有効回答事業所数		90		77		71		65		93		79		77		76			

調査の概要

1. 調査時期 令和3年1～3月期
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	78
卸売業	102	75
小売業	102	70
サービス業	102	74
建設業	102	76
合計	510	373